

Pioneer

AV 一体型 HDD ナビゲーション

AVIC-HRZ900

オーディオブック

目次 5 ページ

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
サーバー

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付録

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください)

警告

【使用方法】

運転中に操作をしない



画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

走行中にテレビやビデオを見ない



運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。走行中にテレビやビデオを見ると前方不注意となり交通事故の原因となります。

【異常時の処置】

故障のまま使用しない



画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

注意

【使用方法】







モニター部にヒーターの熱などを当てない



モニター部にエアコンのクーラーの冷気やヒーターの熱を当てないでください。そのままご使用になると故障や火傷の原因となることがあります。

本書の見かた

本書の表記のしかた

表記	意味
	注意マーク 操作を行う状況において注意していただきたいことや、本製品の性能を維持する上で注意していただきたいことについて説明しています。
	メモ 操作する上で注意すべきことやヒント、便利な使いかたなどについて説明します。
	タッチキーを表します。 例：  にタッチする
	ナビゲーション本体についているボタンを表します。 例：  を押す
→斜体	参照していただきたい本文タイトルやページ、または他の説明書を導きます。 例：→「ミュージックサーバーに録音する」(P70)
つづく→	続きマーク 右ページにおいて、操作手順が次ページに続く場合を表します。
長く押す／ 長くタッチする	“ピッ”と音がするまで押す(タッチする)ことを示します。
押し続ける／ タッチし続ける	押ししている(タッチしている)間だけ動作していることを示します。

メモ

- 本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。
- 実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。
- 本書に記載している製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

目次

安全のために必ずお守りください ... 2	
安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください) ... 3	
本書の見かた 4	
本書の表記のしかた 4	
ご使用前に知っておいて いただきたいこと 8	

オーディオ基本操作

オーディオの基本操作 10	
リスト操作 10	
AVソースの切り換えかた 12	
AVソースを切り換える 12	
AVソースをOFFにする 12	
画面の切り換えかた 13	
AVソース画面と ナビゲーション画面を切り換える ... 13	
AVソース画面を切り換える 13	
P side Map画面を表示する 14	

放送受信

ラジオを聞く 16	
ラジオの放送を受信する 16	
プリセットの種類を選ぶ 17	
バンドを切り換える 17	
放送局を手動で登録する 17	
放送局の自動登録 18	
交通情報を聞く 19	
交通情報を受信する 19	
地上デジタルテレビを見る 20	
地上デジタルテレビを見る 20	
操作タッチキーの表示のしかた 20	
リストの切り換え 21	
プリセットの種類を切り換える 22	
バンドを切り換える 23	
放送局を手動で登録する 23	

受信可能な中継局を探す 24	
番組情報を取得する 24	
番組表を表示する 24	
番組内容を表示する 26	
データ放送を見る 26	
データ放送画面の操作のしかた 27	
サービスを切り換える 28	
放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン) 28	
映像を切り換える 28	
字幕を切り換える 28	
音声を切り換える 29	
サービスリストから チャンネルを選ぶ 29	
地上デジタルテレビの機能設定を行う ... 29	

音楽ディスク

音楽ディスクの再生 36	
再生する 36	
リストから選んで再生する 38	
詳細情報を表示する (MP3) 38	
リピート再生 39	
ランダム再生 39	
スキャン再生 40	
再生メディアの切り換え 40	

映像ディスク

DVDビデオの再生 42	
再生する 42	
操作タッチキーの表示のしかた 42	
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ) 44	
コマ送り再生 45	
スロー再生 45	
CMスキップ/バック 45	
ブックマークの登録 46	
ダイレクトサーチ 46	
字幕言語の切り換え 47	

音声言語の切り換え	47	音声言語の切り換え	67
アングルの切り換え	48	リピート再生	67
リターン再生	48		
リピート再生	49		
音声出力の切り換え	49		
DVD-VRの再生.....	50		
再生する	50		
操作タッチキーの表示のしかた	50		
コマ送り再生	51		
スロー再生	52		
CMスキップ/バック	52		
プレイリストから再生する	53		
リストからタイトルを選んで再生する ...	53		
ダイレクトサーチ	54		
字幕言語の切り換え	54		
音声言語の切り換え	55		
リピート再生	55		
DVDビデオ/DVD-VRの機能設定 ...	57		
基本字幕言語	57		
基本音声言語	58		
メニュー言語	58		
マルチアングル	58		
テレビアスペクト	58		
視聴制限	59		
オートプレイ	59		
光デジタル出力	60		
言語コード表	61		
DivXの再生	62		
再生する	62		
操作タッチキーの表示のしかた	62		
コマ送り再生	63		
スロー再生	64		
CMスキップ/バック	64		
リストからファイルを選んで再生する ...	65		
ダイレクトサーチ	66		
字幕言語の切り換え	66		
		ミュージックサーバー	
		ミュージックサーバーに録音する ...	70
		ミュージックサーバー (MSV) とは ...	70
		録音についてのご注意	70
		CD録音の制限について	70
		タイトル表示について	71
		録音設定	71
		CDを自動的に録音する	72
		CDを手動で録音する	72
		CDの1曲目だけを自動的に録音する ...	73
		ミュージックサーバーの聴きかた ...	74
		グループ、プレイリスト、	
		トラックについて	74
		再生する	74
		表示画面を切り換える	75
		リストから選んで再生する	75
		リピート再生	76
		ランダム再生	77
		スキャン再生	77
		お好みプレイリスト	78
		マイミックスにトラックを追加する ...	78
		お好みプレイリストに	
		トラックを追加する	78
		プレイリストやトラックを編集する ...	79
		詳細・編集画面を表示する	79
		USBメモリーから楽曲を取り込む ...	87
		タイトル情報を取得する	88
		タイトル情報について	88
		タイトル情報を取得する	88
		No Title リストの	
		タイトル情報を取得する	89
		No Title リストの登録を解除する ...	90

その他の機器

iPodの操作のしかた	92
再生する	92
聴きたい曲を探す	93
見たい映像を探す	94
リPEAT再生	94
シャッフル再生	94
コントロールモードを切り換える ...	95

BT AUDIOの操作のしかた	96
BT AUDIO 機器の登録	96
BT AUDIO機器を接続する	96
再生する	97
リPEAT再生	98
ランダム再生	98
BT AUDIO 機器の接続について	99

エクスターナルユニットの 操作のしかた	100
基本操作	100

外部機器の音声を聞く	101
外部機器の入力設定をする	101
外部機器の音声を聞く	101

ビデオなどを見る	102
映像入力の設定をする	102
ビデオを見る	102

AV初期設定

AV初期設定のしかた	104
AV初期設定画面を表示する	104
オーディオ設定をする	104
システム設定をする	110

その他の機能

画面を設定する	116
画質を調整する	116
ワイド画面の拡大方法を切り換える ...	117

リアモニターを組み合わせる	118
リアモニターに表示される 映像について	118

タッチパネルのタッチ位置を 調整する	119
-----------------------------	-----

付録

再生できるディスクの種類	122
DVDに表示されているマークの意味 ...	123
ディスクの操作について	123

ディスクの構成について	124
DVDビデオ	124
CD	124

WMA/MP3/AAC/ DivX ファイルについて	125
フォルダとWMA/MP3および AACファイルについて	125
WMAとは?	126
MP3とは?	126
AACとは?	127
DivXとは?	127

故障かな?と思ったら	128
------------------	-----

エラーメッセージと対処方法	133
共通項目	133

Gracenote® について	136
-----------------------	-----

索引	137
メニュー索引	137
用語索引	138

ご使用前に知っておいていただきたいこと

安全走行のために

本機は、安全のため走行中にテレビやVTRなどの映像を見ることができないようになっています。(走行中は、以下のようなメッセージが表示されます。) また、一部のメニュー操作はできません。安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけてから、操作してください。

例：DVDを見ようとしたとき



オーディオ基本操作

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

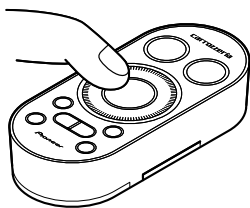
オーディオの基本操作.....	10
リモコンのロータリーコマンダー& セレクトターの操作について	10
リスト操作	10
基本的なリストの操作	10
サイドメニューの操作	11
チェックリストの操作	11
情報更新タッチキーの操作	11
AVソースの切り換えかた.....	12
AVソースを切り換える	12
AVソースを OFF にする	12
画面の切り換えかた.....	13
AVソース画面とナビゲーション画面を 切り換える	13
AVソース画面を切り換える	13
P side Map 画面を表示する.....	14
AV ソースプレートの表示について.....	14
情報ウィンドウ表示に 表示される AV 情報について	14

オーディオの基本操作

オーディオの基本操作について説明します。

リモコンのロータリーコマンドー & セレクターの操作について

本書では、ロータリーコマンドー & セレクターの操作を次のように表記しています。



ロータリーコマンドー & セレクターの上下を押す	▲ ▼を押す
ロータリーコマンドー & セレクターの左右を押す	◀ ▶を押す
ロータリーコマンドー & セレクターの中央を押す	source を押す

メモ

- “ピッ”と音がするまで長く押し続けていることを、「長く押し」と表記しています。
- “ピッ”と音がしてからそのまま離さずに押し続けていることを「押し続ける」と表記しています。

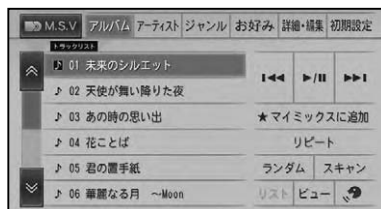
リスト操作

再生中などに表示されるリスト画面の操作について説明します。

メモ

- 表示されるリストの行数を減らし、リスト項目を拡大して表示することができます。詳しくは『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「メニューカスタマイズ」を参照してください。

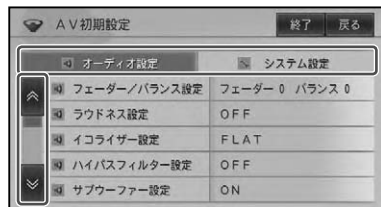
通常リストの場合



拡大リストの場合



基本的なリストの操作



ページ送り

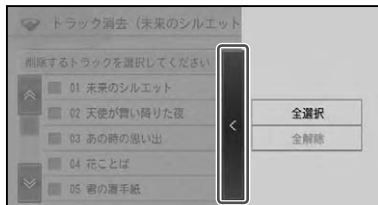
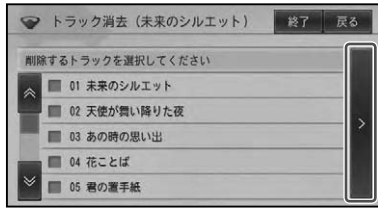
1画面ずつ移動します。

にタッチする
(タッチし続けると、
連続で移動します。)

タブ送り

タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り換わります。

タブ (例: **オーディオ設定**) にタッチする

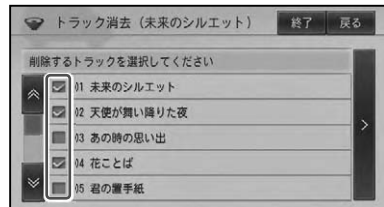
サイドメニューの操作**サイドメニュー**

▶が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

▶にタッチする

メモ

- サイドメニューを閉じるには、◀にタッチします。

チェックリストの操作

チェックリストでは、項目にタッチすると「✓」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると「✓」が消え、選択が解除されます。

またチェックリストでは、サイドメニューを表示できるものがあり、サイドメニューから、**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

情報更新タッチキーの操作

情報更新タッチキーにタッチすると、選んだリスト項目の情報(位置や文字、画像など)を右画面または情報表示部で表示することができます。



情報更新タッチキー

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

AVソースの切り換えかた

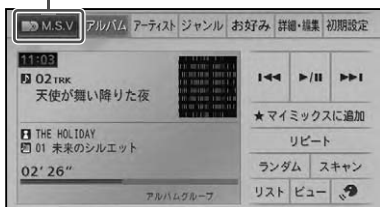
CD、ミュージックサーバー、DVDなどの音源や映像のことをAVソースと呼びます。

AVソースを切り換える

AVソースメニューを表示して、お好みのAVソースを選択します。

1 **[SRC]**を押すか、AVソース画面でAVソース名にタッチする

AVソース名



2 お好みのAVソースにタッチする



選んだAVソースに切り換わります。

リモコンで操作する場合：

[source] を押す	AVソースがONになり、押すごとにAVソースが順に切り換わります。
---------------------	-----------------------------------

メモ

- 交通情報への切り換えは、リモコンでは操作できません。AVソースメニュー画面で**交通情報**にタッチしてください。
- ナビゲーション画面のときにAVソースを切り換えると音声のみ切り換わります。**[AV]**を押すとAVソース画面に切り換えることができます。
- 機器を接続していないAVソースや、再生の準備、設定ができていないAVソースには切り換わりません。

メニューカスタマイズについて

AVソースメニューは、よく使うAVソースだけを集めて“よく使う”メニューとして、表示をカスタマイズすることができます。→「ナビゲーションブック」-「設定操作」-「メニューカスタマイズ」

すべてにタッチするとすべてのタッチキーを、**よく使う**にタッチすると設定したタッチキーのみを表示します。

よく使うにタッチした場合



すべてにタッチした場合



メモ

- カスタマイズを行っていない場合や、カスタマイズですべて選択した場合、1つも選択しなかった場合などは、**すべて よく使う**のタッチキーは表示されません。

AVソースをOFFにする

1 **[SRC]**を長く押す

AVソースがOFFになります。

リモコンで操作する場合：

[source] を長く押す	AVソースがOFFになります。
-----------------------	-----------------

メモ

- AVソースメニューで**OFF**にタッチしても、AVソースをOFFにすることができます。

画面の切り換えかた

AVソース画面の切り換えかたについて説明します。

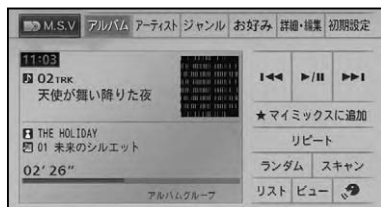
AVソース画面とナビゲーション画面を切り換える

AVソース画面のときに**[Navi]**を押すとナビゲーション画面に、ナビゲーション画面のときに**[AV]**を押すとAVソース画面に切り換わります。

ナビゲーション画面



AVソース画面



メモ

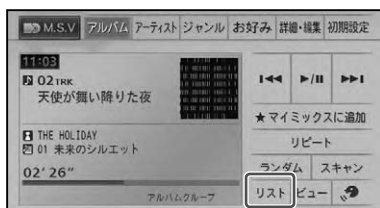
- AVソース画面表示中では、ルート案内中の交差点案内表示や、ビーコン情報の割り込み表示をON/OFFすることができます。→『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「設定を変更する」ただし、P side Map (→P14) 表示中は、設定をONにしても割り込み表示しません。

AVソース画面を切り換える

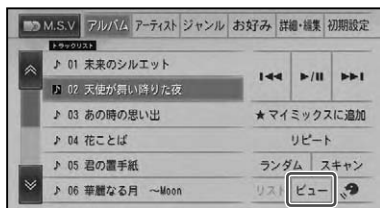
AVソース画面の表示方法（再生情報画面またはリスト画面）を切り換えることができます。

再生情報画面で**[リスト]**にタッチするとリスト画面に、リスト画面で**[ビュー]**にタッチすると再生情報画面に切り換わります。

再生情報画面



リスト画面



メモ

- AVソースが、地上デジタルTV、DVD-V、VTR、その他の映像ソースのときは、パーキングブレーキがかかっているときに、映像画面に切り換わります。画面にタッチすると操作タッチキーやリスト画面が表示されます。
- リスト画面は、何も操作しないと、地上デジタルテレビ、ラジオ（FM/AM）は約8秒、その他のAVソースは約20秒で消え、再生情報画面に戻ります。
- ミュージックサーバー再生中は、プレイリストに画像が設定されている場合、**[ビュー]**にタッチして再生情報画面と画像表示画面を切り換えることができます。（→P75）

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

P side Map 画面を表示する

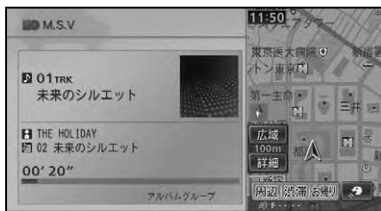
P side Map 画面とは、左側に AV ソース画面、右側にナビゲーション画面（走行画面）を表示する画面です。

AV ソース画面のときに **[AV]** を押すと、P side Map 画面に切り換わります。もう一度 **[AV]** を押すと、AV ソース画面に戻ります。

AV ソース画面



P side Map 画面



メモ

- P side Map 画面では、左側 (AV ソース画面) にタッチすると AV ソース画面に、右側 (走行画面) にタッチすると走行画面に戻ります。
- P side Map 画面のときに、フロントカメラなどの割り込みが表示された場合は、P side Map 画面を一時的に解除し、割り込み終了後は P side Map 画面に戻ります。ただし、VICS 緊急割り込み、データ更新、CD-R 自動読み込みが行われた場合は、P side Map 画面は解除されます。

AV ソースプレートの表示について

ナビ画面（地図画面）のときに、AV ソースの切り換えや、選曲・選局操作などを行うと、地図画面上に AV ソースプレートが表示されます。AV ソースプレートは、表示されてから約 4 秒間何も操作が行われないと消えます。

AV ソースプレートには、現在再生中の AV ソースの状態が表示されます。

AV ソースプレート



情報ウィンドウ表示に表示される AV 情報について

地図画面の情報ウィンドウ表示に、受信中の放送局名や周波数、再生中の曲のタイトルやアーティスト名、AV ソースの動作状態（例：SEEK）など、AV ソースの情報を常に表示しておくことができます。

例：ミュージックサーバー再生中の地図画面



情報ウィンドウ表示

メモ

- 表示される内容は、AV ソースによって異なります。また AV ソースの動作状態によっても異なります。
- 情報ウィンドウ表示の設定については、『ナビゲーションブック』-「設定を変更する」をご覧ください。

放送受信

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ラジオを聞く	16
ラジオの放送を受信する	16
プリセットの種類を選ぶ	17
バンドを切り換える	17
放送局を手動で登録する	17
放送局の自動登録	18
交通情報を聞く	19
交通情報を受信する	19
地上デジタルテレビを見る	20
地上デジタルテレビを見る	20
アイコン一覧	20
操作タッチキーの表示のしかた	20
リストの切り換え	21
プリセットの種類を切り換える	22
バンドを切り換える	23
放送局を手動で登録する	23
受信可能な中継局を探す	24
番組情報を取得する	24
番組表を表示する	24
ジャンル検索で見たい番組を選ぶ	25
番組内容を表示する	26
データ放送を見る	26
データ放送画面の操作のしかた	27
十字パネルタッチキーの操作	27
数字パネルタッチキーの操作	27
サービスを切り換える	28
放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)	28
映像を切り換える	28
字幕を切り換える	28
音声を切り換える	29
サービスリストからチャンネルを選ぶ	29
地上デジタルテレビの機能設定を行う	29
設定内容の詳細	30
[受信機情報] メニュー	32
ダウンロードの手順	32

ラジオを聞く

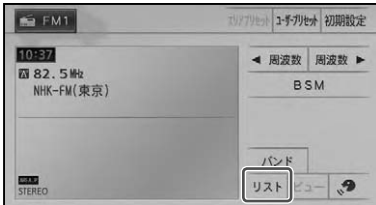
ラジオの受信のしかたを説明します。

ラジオの放送を受信する

1 AVソースをFMまたはAMにする(→P12)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

2 リストにタッチして、受信したい周波数や放送局にタッチする



エアプリセット プリセットの種類(→P17) または

ユーザープリセット

初期設定 AV初期設定画面を表示します。(→P104)

◀周波数 または **周波数▶** 周波数を順に送ります。長くタッチすると、受信できる放送局を自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

BSM 2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→P18)

バンド バンドを切り換えます。(→P17)

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀P.List/Trk▶ を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)

リモコンで操作する場合：

▲ ▼ を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀ ▶ を押す	周波数を順に送る
◀ ▶ を長く押す	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)
◀ ▶ を押し続ける	周波数を連続で送る (NON STOP SEEK)

メモ

- 映像がナビゲーション画面のときに、AVソースをラジオにした場合は、音声のみ切り換わります。**(AV)** を押すとAVソース画面に切り換わります。(→P13)
- 受信をやめるには、AVソースをOFFにします。(→P12)
- 放送局がリスト表示されていても、現在の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がささげられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は [STEREO] が表示されます。

プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが登録した放送局（ユーザープリセット）を呼び出すか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局（エリアプリセット）を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセット または エリアプリセット にタッチする



メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリスト表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機ではAVソースごとに2つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー（P1～P6）を使い分けることができます。

1 バンドにタッチする

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2
AM1 ↔ AM2

メモ

- ふだんはFM1やAM1を使用し、旅行先ではFM2やAM2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

ユーザープリセットに、FM1、FM2、AM1、AM2に各6局まで、手動で登録することができます（マニュアルプリセット）。

- 1 ユーザープリセット にタッチする
- 2 ◀周波数 / 周波数▶ にタッチして登録したい放送局（周波数）を選ぶ
- 3 リスト にタッチする
- 4 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の周波数が、選んだプリセットに登録されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

放送局の自動登録

受信状態の良い放送局をユーザープリセットに自動的に登録することができます。

1 **BSM**に2秒以上タッチする



中止 にタッチすると、自動登録を中止します。

自動登録が完了すると、ユーザープリセットに放送局が登録されます。

メモ

- 受信状態の良い放送局が登録可能数より少ない場合は、前の登録が残る場合があります。

交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

交通情報を受信する

1 AVソースを交通情報にする (→P12)

交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。



1620kHz	1 620kHz にします。
1629kHz	1 629kHz にします。
交通情報 OFF	交通情報の受信をやめて直前の状態に戻ります。

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を 押す	周波数を切り換える
-----------------------------	-----------

リモコンで操作する場合：

◀▶ を押す	周波数を切り換える
---------------	-----------

メモ

- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のAVソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信したときは、前回設定した音量で聞くことができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

地上デジタルテレビを見る

地上デジタルテレビジョン放送を視聴することができます。

メモ

- 地上デジタルTVを初めて使用するときやバッテリーを外したとき、視聴者設定クリア(→P31)をしたとき、別のエリアに移動したときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P28)

注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のため、モニターに映像は表示されません。

地上デジタルテレビを見る

1 AVソースを地上デジタルTVにする(→P12)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

アイコン一覧

放送内容により、次のアイコンがAVソースプレートに表示されます。

	2カ国語放送
	ワンセグから通常放送へ切り換え可能
	データ連動放送
	マルチビュー放送
	HDTV (ハイビジョン放送)
	SDTV (標準画質放送)
	ワンセグ (1セグメント放送)
	サラウンド放送
	ステレオ放送
	マルチ編成
	複数の音声あり
	字幕あり
	アンテナの受信感度
	未読のお知らせメッセージあり

操作タッチキーの表示のしかた

地上デジタルテレビの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 地上デジタルTV映像表示中に、画面にタッチする

操作タッチキー 1

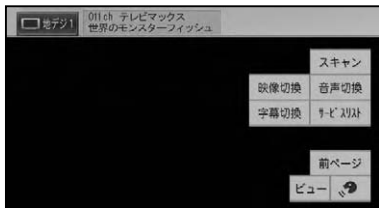


リスト項目

リスト項目	タッチした放送局を受信します。
エリアプリセット	プリセットの種類(→P22)を切り換えます。
ユーザープリセット	
初期設定	AV初期設定画面を表示します。(→P104)
◀チャンネル または チャンネル▶	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)

番組表	番組表を表示します。(→ P24)
番組情報取得	番組情報を取得します。(→ P24)
番組内容	番組内容を表示します。(→ P26)
サービス切換	同じ放送局内のサービスを切り換えます。(→ P28)
d	データ放送画面に切り換えます。(→ P26)
操作	パネルタッチキーを表示します。(→ P27)
バンド	バンドを切り換えます。(→ P23)
次ページ	操作タッチキー 2 に切り換えます。

操作タッチキー 2



スキヤン	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(→ P28)
映像切換	番組に複数の映像(マルチビュー)がある場合、映像を切り換えます。(→ P28)
音声切換	複数の音声がある場合、音声を切り換えます。(→ P29)
字幕切換	複数の字幕がある場合、字幕を切り換えます。(→ P28)
サービスリスト	サービスリストを表示します。(→ P29)
前ページ	操作タッチキー 1 に切り換えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀P.List/Trk▶ を長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

リモコンで操作する場合：

▲▼ を押す	プリセットチャンネルを順に送る
◀▶ を押す	3桁チャンネルを順に送る
◀▶ を長く押す	受信できる物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

メモ

- 何も操作をしないと、操作タッチキーとリスト項目は約8秒で消えます。もう一度表示したいときは、画面にタッチします。
- **ビュー**にタッチすると、操作タッチキーは消えます。
- 受信をやめるには、AVソースをOFFにします(→ P12)。

リストの切り換え

地上デジタルTVのリスト画面では、リストの表示内容や大小を選ぶことができます。

1 リスト画面表示中に**リスト**にタッチする



▼
 タッチすることにより、以下のように切り換わります。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マルチチューナー

その他の機器

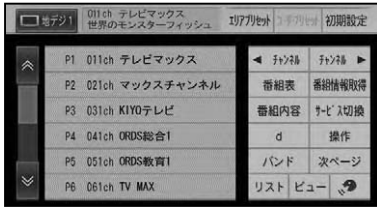
AV初期設定

その他の機能

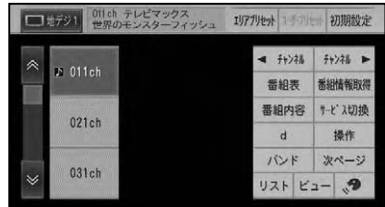
付録

通常リストの場合

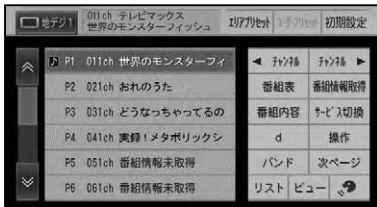
リスト大(放送局名)



リスト小



リスト大(番組名)

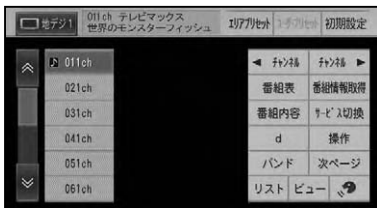


リスト大(放送局名+番組名)に戻る

メモ

- 走行中は、リスト大で表示されます。
- リスト表示の内容は、メニューカスタマイズのリストサイズカスタマイズの設定によって異なります。リストサイズカスタマイズについては『ナビゲーションブック』-「設定操作」-「メニューカスタマイズ」をご覧ください。

リスト小



リスト大(放送局名)に戻る

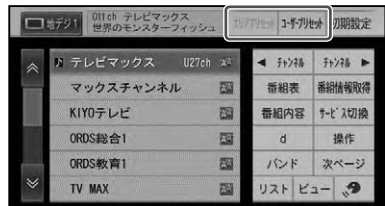
プリセットの種類を切り換える

ユーザーが登録した放送局(ユーザープリセット)を呼び出すか、ハードディスクに登録されている自転車周辺の放送局(エリアプリセット)を呼び出すかを選びます。

1 ユーザープリセットまたはエリアプリセットにタッチする

拡大リストの場合

リスト大(放送局名+番組名)



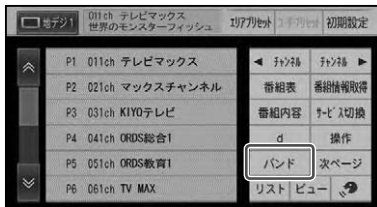
メモ

- エリアプリセットに設定しておく、自車周辺の放送局がリストに表示され、簡単に放送局を選ぶことができます。
- エリアプリセットでは、放送局の周波数(チャンネル)変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

バンドを切り換える

本機では2つのバンド(地デジ1/地デジ2)があり、それぞれのバンドごとにプリセットメモリー(P1～P12)を使い分けることができます。

1 バンドにタッチする



▼
タッチするごとに 地デジ1 ↔ 地デジ2 が切り換わります。

メモ

- ふだんは地デジ1を使用し、旅行先では地デジ2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

放送局を手動で登録する

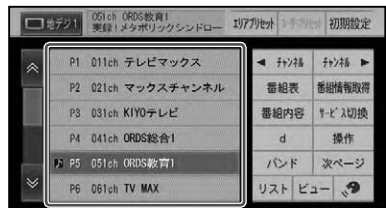
ユーザープリセットにバンドごとに12局まで手動で登録することができます(マニュアルプリセット)。

1 「ユーザープリセット」にする

2 ◀チャンネル、チャンネル▶にタッチして登録したい放送局を選ぶ



3 登録したいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



▼
現在受信中の放送局が、選んだリストに登録されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー/サービスク


その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

受信可能な中継局を探す

エリアプリセットで同じ放送局の別エリアの中継局が存在する場合は、放送局名の右側に  マークが表示されます。

受信状態が悪くなった場合などは次の操作で受信可能な中継局を探して切り換えることができます。

1 「エリアプリセット」にする (→P22)

2 受信中の放送局名にタッチして **はい** にタッチする



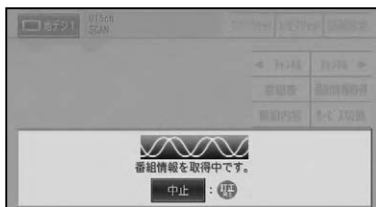
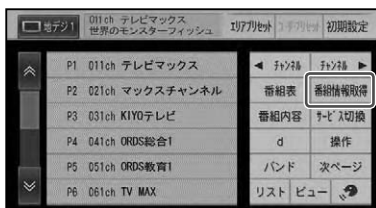
メモ

- 機能設定の「オート放送局サーチ設定」(→P30)で、「中継局+系列局」または「中継局」に設定しておく、エリア内の受信状態の良い中継局に自動で切り換えることができます。
- エリア外に移動した場合は、チャンネルスキャン(→P28)をしてください。

番組情報を取得する

番組情報を取得して、番組表や番組内容を最新の状態にします。

1 番組情報取得にタッチする

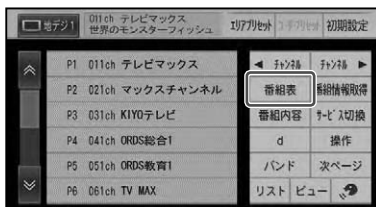


中止 にタッチすると、取得を中止します。

番組表を表示する

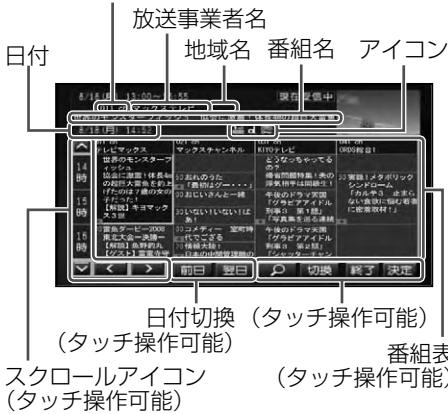
本機が取得したチャンネルの、最大1週間先までの電子番組表(EPG)を表示できます。

1 番組表にタッチする



番組表が表示されます。

3桁チャンネル番号



前日	前日の番組表を表示します。
翌日	翌日の番組表を表示します。
🔍	ジャンル検索画面が表示されます。 ジャンルを選んで、見たい番組を検索し、視聴します。(→P25)
切換	タッチすることにより、以下のように表示方法が切り換わりします。 4チャンネル分 → 7チャンネル分 → 1チャンネル分 → 4チャンネル分に戻る
終了	通常の視聴画面に戻ります。
決定	現在放送中の番組であれば、選んだ番組を視聴します。 現在放送中の番組でなければ、選択された番組の番組内容画面を表示します。

メモ

- 画面の項目に直接タッチして操作できます。
- **終了**にタッチすると、通常の放送画面に戻ります。
- 番組情報取得の操作(→P24)を行っていない場合、現在受信中のチャンネル以外は空欄となります。空欄部分にタッチするか、**▲▼◀▶**で空欄を選んで**決定**にタッチすると、そのチャンネルの番組情報が取得され、番組表に表示されます。

ジャンル検索で見たい番組を選ぶ

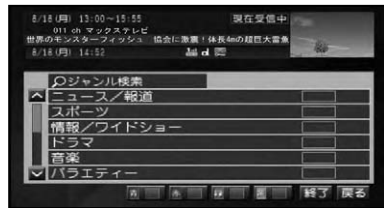
ジャンルから見たい番組を検索することができます。

メモ

- 検索結果は最大で30番組までです。また、検索対象は24時間以内に開始される番組となります。

1 番組表が表示されているときに🔍にタッチする

2 見たい番組のジャンルを選んでタッチする



メモ

- ジャンル検索画面表示中に**▲▼**でジャンルを選び、カラーボタン(**青**、**赤**、**緑**、**黄**)にタッチすると、その選んだジャンルの番組がカラーボタンの色で番組表に表示されます。

3 見たい番組を選んでタッチする

現在放送している番組であれば、その番組に切り換わりします。
これから放送する番組であれば、その番組の情報が表示されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マイサージャック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

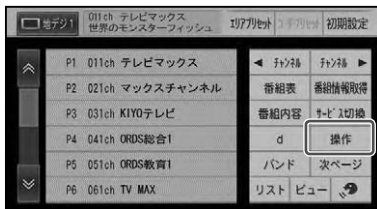
付録

データ放送画面の操作のしかた

データ放送画面では、パネルタッチキーを表示して操作します。

1 データ放送画面(→P26)で、画面にタッチして操作タッチキーを表示させる

2 操作にタッチする



パネルタッチキーが表示されます。パネルタッチキーには十字パネルタッチキーと数字パネルタッチキーがあります。

十字パネルタッチキーの操作

カーソル操作や項目の決定、各機能ボタンの操作ができます。

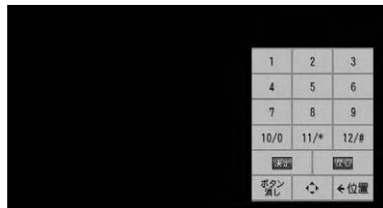


決定	項目を決定します。
▲▼◀▶	カーソルを操作します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
d	データ放送画面と通常の放送画面を切り換えます。
青	青ボタンとして使います。
赤	赤ボタンとして使います。
緑	緑ボタンとして使います。
黄	黄ボタンとして使います。

ESC	ESC ボタンとして、全解除などに使います。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
数字	数字パネルタッチキーを表示します。(→P28)
←位置 または 位置→	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

数字パネルタッチキーの操作

プリセットメモリーの操作や数字の入力などができます。



数字キー (1 ~ 12/#)	数字を入力します。数字入力画面以外では、プリセットメモリーキーとして動作します。
決定	項目を決定します。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
ボタン消し	パネルタッチキーを消します。
◀▶	十字パネルタッチキーに戻ります。(→P27)
←位置 または 位置→	パネルタッチキーの表示位置を切り換えます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー/サービスク

その他の機器

AV初期設定

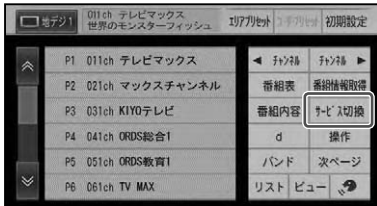
その他の機能

付録

サービスを切り換える

現在受信中のチャンネルで複数のサービスやワンセグが提供されている場合、サービスを切り換えることができます。

1 サービス切換 にタッチする

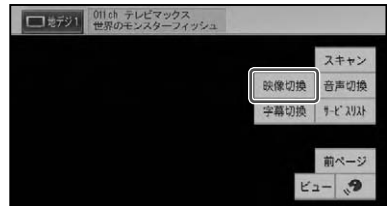


別のサービスが表示されます。

映像を切り換える

マルチビューなど、複数の映像がある番組のときに、映像を切り換えます。

1 映像切換 にタッチする



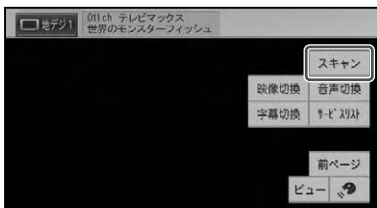
タッチすることにより次のように切り換わります。

映像1 → 映像2 → 映像3 →
映像1 に戻る

放送局を自動で登録する (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信状態の良い放送局をユーザープリセットとサービスリストに自動的に登録することができます。

1 スキャンに2秒以上タッチする

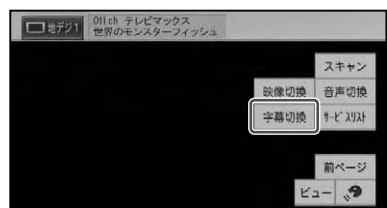


中止 にタッチすると、スキャンを中止します。

字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えます。

1 字幕切換 にタッチする



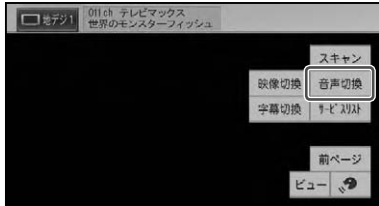
タッチすることにより次のように切り換わります。

字幕1 → 字幕2 → 字幕OFF →
字幕1 に戻る

音声を切り換える

番組に複数の音声があるときに、音声を切り換えます。

1 音声切換 にタッチする



▼
タッチすることにより次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

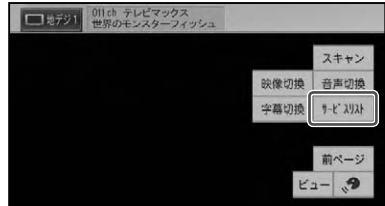
第1音声 → 第2音声 → 第3音声 →
第1音声に戻る

2カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声+副音声 →
主音声に戻る

サービスリストからチャンネルを選ぶ

1 サービスリストにタッチする



2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



地上デジタルテレビの機能設定を行う

地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。

機能設定には、視聴設定、環境設定、受信機情報メニューがあります。

1 初期設定 にタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュー
ジック
サー
ビッ
ク

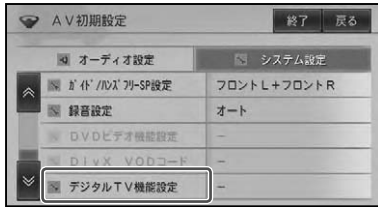
その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付
録

2 デジタルTV機能設定にタッチする



地上デジタルTV放送の機能設定メニューが表示されます。

3 メニューの種類(タブ)を選んでメニュー項目にタッチする



メニュー項目

視聴設定	[視聴設定] メニューが表示されます。(→ P30)
環境設定	[環境設定] メニューが表示されます。(→ P31)
受信機情報	[受信機情報] メニューが表示されます。(→ P32)

メモ

各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

設定内容の詳細

【視聴設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

12セグ・ワンセグ切替設定

視聴している番組の受信レベルが低くなった場合に、通常の放送とワンセグを自動的に切り換えるか手動で切り換えるかを設定します。

「オート(12セグ優先)」 12セグの受信を優先します。状況に応じてワンセグに切り換えます。

「オート(標準)」* 状況に応じて12セグとワンセグを自動で切り換えます。

「オート(ワンセグ優先)」 ワンセグの受信を優先します。状況に応じて12セグに切り換えます。

「マニュアル」 12セグとワンセグを手動で切り換えます。

メモ

- 自動切り換えは、プライマリーサービスの場合のみ動作します。12セグ放送とワンセグ放送が異なる内容を放送しているときは、自動では切り換わりません。
- 「オート(12セグ優先)」は、受信状態が悪くなくても12セグ受信が優先されるため、画面が乱れたり音声が進まったりする場合があります。

オート放送局サーチ設定

受信状態が悪くなったとき、他の受信状態の良い中継局または系列局を自動で探すかを設定します。

「中継局+系列局」 自動で中継局・系列局を探します。

「中継局」* 自動で中継局を探します。
「OFF」 中継局・系列局は探しません。

文字スーパー表示設定

文字スーパーの言語や表示を設定します。

「第1言語」* 第1言語で表示します。
「第2言語」 第2言語で表示します。
「OFF」 文字スーパーを表示しません。

イベントリレー設定

別のチャンネルで延長番組が放送されるときに、自動的にチャンネルを切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

「オート」 自動でチャンネルを切り換えます。

「マニュアル」* 手動でチャンネルを切り換えます。

緊急警報放送設定

緊急警報放送が始まったときに、チャンネルを自動で切り換えるか、手動で切り換えるかを設定します。

「オート」* 自動でチャンネルを切り換えます。

「マニュアル」 手動でチャンネルを切り換えます。

【環境設定】メニュー

*は工場出荷時の設定です。

地域設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、エリアプリセットで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で地域を設定します。

郵便番号設定

本機をお使いの地域を設定します。設定した内容は、データ放送の地域を対象にしたサービスで使用され、それぞれのバンドごとに保存されます。

「オート」* 自車位置情報をもとに自動的に設定されます。

「マニュアル」 手動で使用する地域を郵便番号で入力します。

ダウンロード設定

放送波に含まれたデータをダウンロードして、本機内のデータを更新するかどうかを設定します。

「ON」* データをダウンロードします。

「OFF」 データをダウンロードしません。

メモ

- ダウンロード中は、放送を見ることはできません。ただし、「4チューナー設定」(→P31)を「番組表取得/サーチ優先」にしている場合は、ダウンロード中も放送を見ることができます。

番組名称情報取得設定

地上デジタルTV 以外のAVソースのときや、「4チューナー設定」を「番組表取得/サーチ優先」に設定している場合に、自動的に最新の番組情報を取得(→P24)するかどうかを設定します。

「ON」* 自動的に取得します。

「OFF」 自動的に取得しません。

視聴者設定クリア

廃棄や譲渡などで本機を手放すときに、本機に記録されている視聴者設定を消去するための設定です。

*チャンネルおよび番組表、機能設定(視聴者設定、環境設定)、データ運動放送のブックマークが消去されます。

「はい」 設定をクリアします。

「いいえ」 設定をクリアしません。

番組表表示設定

表示する番組表を、主要サービスのメインチャンネルにするか、全チャンネルにするかを設定します。

「メインチャンネル」* メインチャンネルの番組表を表示します。

「全チャンネル」 全チャンネルの番組表を表示します。

4チューナー設定

4つのチューナーをすべて受信性能優先とするか、受信と機能を2+2チューナーで分けるかを設定します。機能とは、中継局サーチや系列局サーチ、他の放送局の番組表取得、ダウンロードなどです。

「受信性能優先」* 4つのチューナーをすべて受信性能優先として設定します。

「番組表取得/サーチ優先」 必要に応じて2チューナーで放送を受信し、残りの2チューナーで機能を実行します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー/サージャー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

【受信機情報】メニュー

お知らせメッセージ

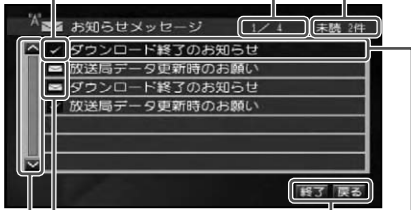
本機に送られてきたメッセージを表示します。

メッセージ一覧画面

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数

既読アイコン

未読件数の表示



未読アイコン (タッチ操作可能)

スクロールアイコン
(タッチ操作可能)

メッセージの件名
(タッチ操作可能)

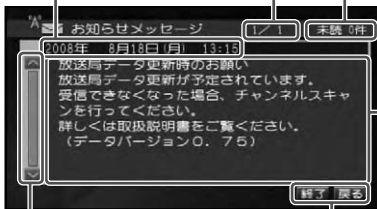
1 内容を見たいメッセージにタッチする

選んだメッセージの内容が表示されます。

選択中のメッセージ番号と総メッセージ数

日付

未読件数の表示



スクロールアイコン (タッチ操作可能)
(タッチ操作可能)

メッセージの内容

メモ

- ・戻るまたは**終了**にタッチすると、放送画面(視聴画面)に戻ります。
- ・未読メッセージがあると、画面に✉(→P20)が表示されます。

バージョン情報

本機のソフトウェアのバージョンや、B-CASカードなどの情報を表示します。

本機ソフトウェアのバージョン



B-CASカードの情報 (タッチ操作可能)

ダウンロードの手順

更新されたデータが地上デジタル放送で配信されたときに、ダウンロードして本機内のデータをバージョンアップすることができます。

メモ

- ・あらかじめ、環境設定メニュー(→P31)の「ダウンロード設定」を「ON」にしておく必要があります。
- ・走行中よりも停車中のほうが受信状態が安定してダウンロードが成功する確率が高くなります。
- ・ダウンロードが完了するまで、エンジンスイッチをOFFにしないでください。
- ・ダウンロードが成功して本機内のデータを更新すると、本機の設定内容が消去される場合があります。その場合、お使いになる前に機能設定(→P29)を行ってください。また設定内容などは、事前にメモしておくことをおすすめします。

1 「ダウンロード待機中」のメッセージが表示されたら、エンジンスイッチを切らずに待つ

ダウンロードが完了します。

 メモ

- 4チューナー設定 (→P37) で「番組表取得／サーチ優先」に設定している場合、ダウンロード画面は表示されません。(表示はされませんが、ダウンロードは自動的に行われます。)
- ダウンロードを中止する場合は、**中断**などのキーにタッチします。
- ACCがONの状態であれば、AVソースのON/OFFにかかわらず、ダウンロードを行います。
- ダウンロードが成功すると、画面にメッセージが表示されます。画面に従って操作してください。
- ダウンロードが失敗したときは、受信状態が安定しているかどうか受信レベルを確認してください。
- 受信状態が安定しているのにダウンロードが何度も失敗してしまうときは、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

音楽ディスク

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

音楽ディスクの再生.....	36
再生する.....	36
リストから選んで再生する.....	38
詳細情報を表示する (MP3).....	38
リピート再生.....	39
ランダム再生.....	39
スキャン再生.....	40
再生メディアの切り換え.....	40

音楽ディスクの再生

CD、ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P12)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P122)を参照してください。
- 再生を中止するには、**■**にタッチするかAVソースをOFFにします。(→P12)
- WMA/MP3/AACはID3タグ/WMAタグ/AACタグ(→P125)からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- アルバムタイトル、トラックタイトル、アーティスト名は半角32文字まで表示できます。
- WMA/MP3/AACは、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がアルバムタイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAのときにタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーの項目にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。

CD (通常再生中)

トラックNo. 再生中の曲 アーティスト名



再生中のトラックの ディスクタイトル
経過時間

ROM (WMA/MP3/AAC)

トラック
トラックNo. タイトル アーティスト名



再生中のトラック ビットレート
の経過時間
フォルダー No./
フォルダータイトル

●録音 (CD再生時のみ)	ミュージックサーバーへ手動録音します。
🏠 (ROM再生時のみ)	1つ上のフォルダーの情報を表示します。ルートディレクトリ表示中またはフォルダーが無い場合は操作できません。
🔍 (MP3再生時のみ)	詳細情報を表示します。

メディアの切換	音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC データ (ROM) と DivX のいずれかのデータが混在しているディスクを挿入した場合に、再生するデータを切り換えます。(→ P40)
初期設定	AV 初期設定画面を表示します。(→ P104)
◀▶	トラック操作を行います。
◀▶ (タッチし続ける)	早戻し / 早送りを行います。
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
■	再生を停止します。
リピート	リピート再生を行います。(→ P39)
ランダム	ランダム再生を行います。(→ P39)
スキャン	スキャン再生を行います。(→ P40)

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	トラックのアップ / ダウン
◀P.List/Trk▶ を長く押す	CD 再生時は早戻し / 早送り ROM 再生時はフォルダーのアップ / ダウン

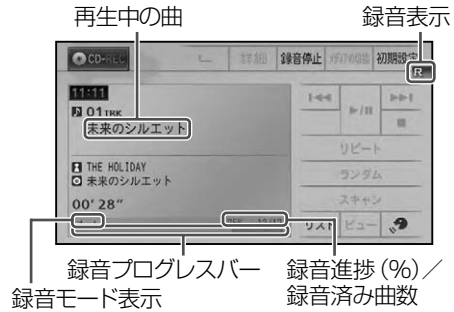
リモコンで操作する場合：

◀▶ を押す	トラックのアップ / ダウン
◀▶ を長く押す	早戻し / 早送り
▲▼ を押す (ROM 再生時のみ)	フォルダーのアップ / ダウン

メモ

- ミュージックサーバーへの録音中は、操作できない機能があります。
- 音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC 形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ (CD) が再生されます。WMA/MP3/AAC ファイルを再生するには **メディアの切換** にタッチします。

CD → REC (録音中)



録音停止	ミュージックサーバーへの録音を停止します。
初期設定	AV 初期設定画面を表示します。(→ P104)

メモ

- 録音していない CD を再生すると、自動的にミュージックサーバーへの録音が始まります。すべての曲の録音が終わると通常再生に切り換わります。録音モード (→ P71) を「マニュアル」に設定している場合は、録音したい曲を選んで、手動で録音することができます。
- すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生 (ランダム再生など) はできません。選曲操作が必要な場合は、**録音停止** にタッチして録音を中止してください。録音を再開するときは、**録音** にタッチします。
- 内蔵の Gracenote® 音楽認識サービス (CDDb) から情報が取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- CD TEXT から情報が取得できた場合は、CD TEXT の情報が優先して表示されます。
- ミュージックサーバーへの録音およびタイトル表示については「ミュージックサーバーに録音する」(→ P70) をご覧ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付録

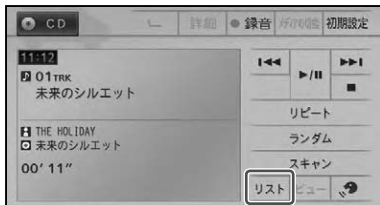
リストから選んで再生する

リストを表示して、再生したい曲を直接選ぶことができます。

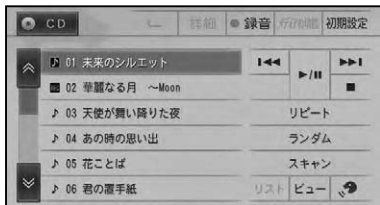
メモ

- 録音中はリスト表示のみ行えます。**録音停止**にタッチして録音を中止すると、リストから曲を選ぶことができます。

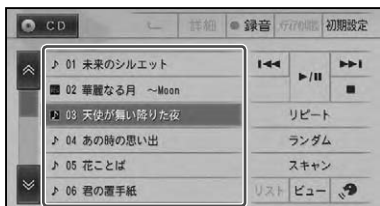
1 リストにタッチする



再生中のCDやフォルダーの内容がリスト表示されます。



2 聴きたい曲(トラック)にタッチする



メモ

- ROMのフォルダーリスト表示中にフォルダー名にタッチすると、そのフォルダーの内容をリスト表示します。
- 通常再生画面に戻るには、**ビュー**にタッチします。

詳細情報を表示する(MP3)

MP3では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

1 詳細情報を表示したいMP3ファイルを再生して**詳細**にタッチする



ID3 Tagの情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報(アルバム名、フォルダ名、ファイル名、トラック名、アーティスト名、ジャンル名、発売年)が表示されます。

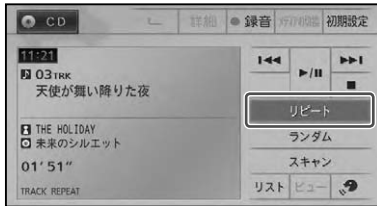
ID3 Tagの情報がない場合には、フォルダ名、ファイル名のみ表示されます。

戻るにタッチすると元の画面に戻ります。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピートの範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返して聴くことができます。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

CD

DISC REPEAT (表示なし) ←→
TRACK REPEAT

ROM (WMA/MP3/AAC)

DISC REPEAT (表示なし) → TRACK REPEAT → FOLDER REPEAT →
DISC REPEAT (表示なし) に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
FOLDER REPEAT (ROM再生時のみ)	再生中のフォルダーを繰り返します。

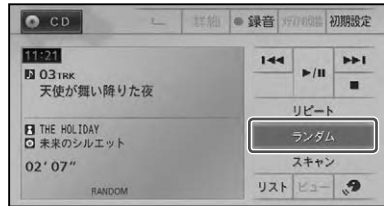
メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (TRACK REPEAT中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 選んだリピート範囲は画面に表示されますが、通常再生であるDISC REPEATは、画面に表示されません。

ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り換わります。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作 (リピート再生、スキャン再生など) やリピートの範囲を超える操作 (フォルダーの切り換えなど) を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メモリーバックアップ

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

スキャン再生

選んだりPEATの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

1 リPEAT範囲を以下のように指定する

聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー(WMA/MP3/AAC)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リPEATの範囲を以下のように指定します。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

メモ

- リPEATの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、リPEATの範囲はそれぞれ上記のリPEAT範囲に切り換わります。

聴きたいフォルダーを探すとき (WMA/MP3/AAC)

ディスク内の全フォルダーの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。リPEATの範囲をDISC REPEATに指定します。

2 スキャンにタッチする



タッチするごとに、スキャン再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

メモ

- スキャン再生中にその他の再生(リPEAT再生、ランダム再生など)やリPEATの範囲を超える操作(フォルダーの切り換えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

再生メディアの切り換え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスクを挿入した場合に再生するデータを切り換えます。

1 メディアの切換にタッチする

再生するデータ形式が切り換わります。

メモ

- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。

映像ディスク

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバーバック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

DVD ビデオの再生	42	DVD ビデオ /DVD-VR の機能設定	57
再生する.....	42	基本字幕言語.....	57
操作タッチキーの表示のしかた.....	42	基本音声言語.....	58
ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ).....	44	メニュー言語.....	58
ディスクメニュー操作キーで操作する.....	44	マルチアングル.....	58
コマ送り再生.....	45	テレビアスペクト.....	58
スロー再生.....	45	視聴制限.....	59
CM スキップ /バック.....	45	暗証番号を忘れたときは.....	59
ブックマークの登録.....	46	オートプレイ.....	59
ダイレクトサーチ.....	46	光デジタル出力.....	60
字幕言語の切り換え.....	47	言語コード表	61
音声言語の切り換え.....	47	DivX の再生	62
アングルの切り換え.....	48	再生する.....	62
リターン再生.....	48	操作タッチキーの表示のしかた.....	62
リピート再生.....	49	コマ送り再生.....	63
音声出力の切り換え.....	49	スロー再生.....	64
DVD-VRの再生	50	CM スキップ /バック.....	64
再生する.....	50	リストからファイルを選んで再生する.....	65
操作タッチキーの表示のしかた.....	50	レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合.....	65
コマ送り再生.....	51	ダイレクトサーチ.....	66
スロー再生.....	52	字幕言語の切り換え.....	66
CM スキップ /バック.....	52	音声言語の切り換え.....	67
プレイリストから再生する.....	53	リピート再生.....	67
リストからタイトルを選んで再生する.....	53	再生メディアの切り換え.....	68
ダイレクトサーチ.....	54		
字幕言語の切り換え.....	54		
音声言語の切り換え.....	55		
リピート再生.....	55		
音声出力の切り換え.....	56		

DVDビデオの再生

DVDビデオの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P12)
- DVDによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に再生が開始されない場合があります。その場合は、ディスクメニューを操作して再生してください。→「ディスクメニューの操作(ダイレクトタッチ)(DVD)」(→P44)
- オートプレイの設定をONにすると、タイトル順に自動的に再生することができます。→「オートプレイ」(P59)
- DVDの録音レベルは他のAVソースより低いいため、他のAVソースからDVDに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P108)
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P122)を参照してください。
- 再生を中止するには、**■**にタッチするかAVソースをOFFにします。(→P12)

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 再生中に画面にタッチする

操作タッチキー 1



トップメニュー/メニュー	ディスクに記録されたメニューがある場合、メニュー画面を表示します。(→P44)
初期設定	AV初期設定画面を表示します。(→P104)
⏮️, ⏭️ ⏮️, ⏭️ (タッチし続ける)	チャプター操作を行います。指を離すまで早戻し/早送りを行います。約5秒以上操作し続けると、早戻し/早送りのままになります。 ⏮️/⏭️ または ▶️ にタッチすると、通常再生に戻ります。
▶️ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
⏮️ 	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P45)

■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
CMバック / CMスキップ	一定の秒数だけ早送り/早戻しを行います。(→P45)
⇕	ディスクメニュー操作キーを表示して、ディスクメニューの操作を行います。(→P44)
ブックマーク	再生中のディスクにブックマークを登録します。(→P46)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕) (→P47)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声) (→P47)
L/R切換	音声出力を切り換えます。(→P49)
アングル	再生中にカメラアングルを切り換えます。(マルチアングル) (→P48)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→P46)
リピート	リピート再生を行います。(→P49)
リターン	戻る位置が指定されたディスクの場合、再生中に指定された位置まで戻って再生します。(→P48)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

メモ

- ・**ビュー**にタッチすると操作タッチキーは消えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	チャプターのダウン/アップ
◀P.List/Trk▶ を長く押す	タイトルのダウン/アップ

リモコンで操作する場合：

▲▼ を押す	タイトルのアップ/ダウン
◀▶ を押す	チャプターのダウン/アップ
◀▶ を長く押す	早戻し/早送り

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー
サービ
ス

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ディスクメニューの操作 (ダイレクトタッチ)

ディスクメニューは、ディスクにあらかじめ記録されているメニューのことで、表示されるメニューや操作方法は、再生するディスクによって異なります。

本機は、画面に表示されるディスクメニューに直接タッチして操作することができます。

1 トップメニューまたはメニューにタッチする



2 画面にタッチして操作する



メモ

- **メニュー** にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示して操作することもできます。

ディスクメニュー操作キーで操作する

ディスクメニューの文字列が小さくてタッチしにくいときや、文字列の一部がタッチキーなどに隠れてしまっている場合などは、ディスクメニュー操作キーを表示して操作することができます。

1 ディスクメニュー表示中に**メニュー**にタッチする

2 ▲◀▶▼にタッチして項目を選び、**決定**にタッチする



メモ

- **メニュー** にタッチすると、ディスクメニュー操作キーが消えます。
- **戻る** にタッチしてディスクメニュー操作キーを消すこともできますが、その場合 **メニュー** は表示されずダイレクトタッチもできません。画面にタッチして操作タッチキーを表示し、**決定** にタッチするとディスクメニュー操作キーを表示することができます。

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 11にタッチする



タッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- ・11にタッチすると通常再生に戻ります。
- ・ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ・ディスクや再生位置によって、禁止マークが表示され、操作できない場合があります。

スロー再生

再生スピードを遅くして見ることができます。

1 11に2秒以上タッチする



スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー-DOWN	再生スピードが遅くなります。
スロー-UP	再生スピードが速くなります。

メモ

- ・11にタッチすると通常再生に戻ります。
- ・11にタッチして、スロー再生の速度を上げることもできます。
- ・ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- ・戻り方向のスロー再生はできません。
- ・ディスクや再生位置によって、禁止マークが表示され、操作できない場合があります。

CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し/早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 CMスキップまたはCMバックにタッチする



タッチすることにより、以下のような秒数で早戻し/早送りされます。

CM スキップ 「30秒」→「1分」→「1分30秒」→「2分」→「3分」→「5分」→「10分」→「0秒」→「30秒」に戻る

CM バック 「5秒」→「15秒」→「30秒」→「1分」→「2分」→「3分」→「0秒」→「5秒」に戻る

メモ

- ・ディスクや再生位置によって、禁止マークが表示され、操作できない場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ブックマークの登録

ブックマークとは、ディスク再生中に場面を選んで登録する機能です。次にディスクを挿入したときに、登録した場面から再生されます。

1 ブックマークにタッチする



選んだ場面がブックマークとして登録され、次回ディスク挿入時、その場面より再生されます。

消去する場合は、**ブックマーク**に2秒以上タッチします。

メモ

- ディスク1枚につき1場面登録でき、ディスク5枚分のブックマークを登録できます。5枚を超えて新しいディスクにブックマークを登録すると、一番使用時期の古いディスクのブックマーク情報に上書きされます。

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**CHAPTER**、**TIME**、**10キーモード**が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。
10キーモード	数字のコマンドを入力します。

指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする



タッチすることにより、字幕言語が切り換わります。

メモ

- パッケージについている(2)マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

メモ

- パッケージについている(2)マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。
- DTS 音声を再生するためには、5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」およびオーディオマスターユニット「AXM-P9」を接続する必要があります。詳しくは「取付説明書」をご覧ください。
- 本機に5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」などを接続したときは、「AV初期設定」の「5.1ch DSPユニット設定」の設定が必要です。(→P112)
- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー
サービスク

その他の機器

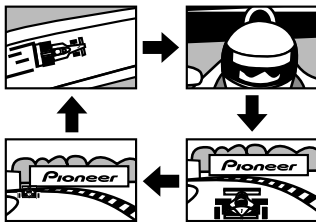
AV初期設定

その他の機能

付録

アングルの切り換え

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます(マルチアングル)。



メモ

- マルチアングルが収録されている場面で操作します。マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。


1 アングルにタッチする

アングル選択マークが表示されている間は、アングル切り換えが行えます。



タッチすることにより、アングルが切り換わります。

メモ

- パッケージについている  マークの数字が、アングルの収録数です。
- アングル選択マークの表示/非表示は、DVD機能設定メニューの「マルチアングル」で行います。→「マルチアングル」(P58)

リターン再生

戻る位置の指定が収録されているディスクの場合、指定された位置まで戻って再生することができます。

1 リターンにタッチする



ディスクの指定された位置まで戻り、再生を始めます。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピートの範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする



タッチするごとに、リピートの範囲が次のように切り換わります。

**DISC REPEAT (表示なし) →
CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT
→ DISC REPEAT (表示なし) に戻る**

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート範囲は、画面に表示されますが通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、Ⓢ(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- オートプレイ(→P59)の設定がONのときは機能しません。

音声出力の切り換え

音声のリニアPCMのディスクの場合、収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

1 L/R切換にタッチする



タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → L → R → MIX → L + R に戻る

L + R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
MIX	左右の音声をミックスして出力します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マルチメディア

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

DVD-VRの再生

DVD-VRの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意


- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P12)
- DVD-VRの録音レベルは他のAVソースより低いいため、他のAVソースからDVD-VRに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。ソースレベルアジャスターでAVソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P108)
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P122)を参照してください。
- 再生を中止するには、にタッチするかAVソースをOFFにします。(→P12)










操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 再生中に画面にタッチする

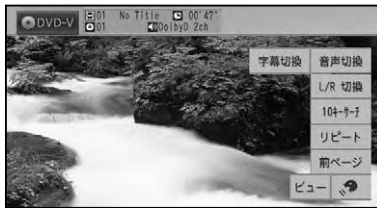
操作タッチキー 1



	AV 初期設定画面を表示します。(→P104)
	チャプター操作を行います。
	指を離すまで早戻し/早送りを行います。約5秒以上操作し続けると、早戻し/早送りのままになります。  /  または  にタッチすると、通常再生に戻ります。
	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→P51, 52)
	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)

CMバック / CMスキップ	一定の秒数だけ早送り / 早戻しを行います。(→ P52)
Program / PlayList	通常の再生 (Program) とプレイリストからの再生を切り換えます。(→ P53)
リスト	タイトルのリストを表示します。(→ P53)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕) (→ P54)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声) (→ P55)
L/R 切換	音声出力を切り換えます。(→ P56)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→ P54)
リピート	リピート再生を行います。(→ P55)
前ページ	操作タッチキー1に切り換えます。

メモ

- **ビュー** にタッチすると操作タッチキーは消えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	チャプターのダウン / アップ
◀P.List/Trk▶ を長く押す	タイトルのダウン / アップ

リモコンで操作する場合：

▲▼ を押す	タイトルのアップ / ダウン
◀▶ を押す	チャプターのダウン / アップ
◀▶ を長く押す	早戻し / 早送り

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見ることができます。

1 **▶||** にタッチする



タッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- **▶||** にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、**⊘** (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。
- 静止画コンテンツを再生された場合は、タッチすることにより静止画が順に送られます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

スーパーブック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

スロー再生

再生スピードを遅くして見るができます。

1 **II** に2秒以上タッチする



スロー再生中に以下のタッチキーにタッチすると、スロー再生の速度を切り換えることができます。

スロー-DOWN	再生スピードが遅くなります。
スロー-UP	再生スピードが速くなります。

メモ

- **II** にタッチすると通常再生に戻ります。
- **II** にタッチして、スロー再生の速度を上げることもできます。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し / 早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。

1 **CMスキップ** または **CMバック** にタッチする



タッチするごとに、以下のような秒数で早戻し / 早送りされます。

CM スキップ (早送り)	「30秒」 → 「1分」 → 「1分30秒」 → 「2分」 → 「3分」 → 「5分」 → 「10分」 → 「0秒」 → 「30秒」に戻る
	CM バック (早戻し)
	「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」 → 「1分」 → 「2分」 → 「3分」 → 「0秒」 → 「5秒」に戻る

メモ

- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

プレイリストから再生する

ディスクに記録されたプレイリストから再生することができます。

1 PlayList にタッチする



プレイリスト再生されます。

メモ

- プレイリストが無い場合は、操作できません。
- プレイリスト再生中は、**Program**が表示され、タッチするとプログラム再生に戻ります。
- ProgramとPlayListを切り換えると、必ず先頭のタイトルから再生されます。

リストからタイトルを選んで再生する

リストから見たいタイトルを選んで再生することができます。

1 リストにタッチする



2 見たいタイトルにタッチする



選んだタイトルが再生されます。

メモ

- リスト画面と操作タッチキーは約20秒で消えます。
- もう一度**リスト**にタッチすると、再生画面に戻ることができます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

スーパーブック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

TITLE、**TIME**、**CHAPTER**が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

TITLE	タイトル番号を入力します。
CHAPTER	チャプター番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を確定します。

指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする



タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

メモ

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が多音録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする



タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

メモ

- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

リピート再生

指定したディスク、チャプター、タイトルを繰り返して再生することができます。例えば、リピートの範囲をCHAPTER REPEATに指定すると、再生中のチャプターを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT (表示なし) →
CHAPTER REPEAT → TITLE REPEAT
→ DISC REPEAT (表示なし) に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
CHAPTER REPEAT	再生中のチャプターを繰り返します。
TITLE REPEAT	再生中のタイトルを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート範囲は、画面に表示されますが通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、⓪(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(CHAPTER REPEAT中のチャプターの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

サバービック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

音声出力の切り換え

収録された左右のチャンネルのうち、どちらをスピーカーから出力するかを切り換えます。

メモ

- 再生するDVD-VRのチャンネル構成が1+1chのときに、音声出力の切り換えが可能になります。

1 L/R切換 にタッチする



▼
タッチするごとに、音声出力のチャンネルが以下のように切り換わります。

L + R → L → R → MIX → L + R に戻る

L+R	左右両方の音声を出力します。
L	左の音声を出力します。
R	右の音声を出力します。
MIX	左右の音声をミックスして出力します。

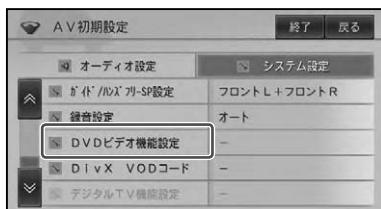
DVDビデオ/DVD-VRの機能設定

DVDとDVD-VRの再生条件を、あらかじめ使用する環境に合わせて設定することができます。

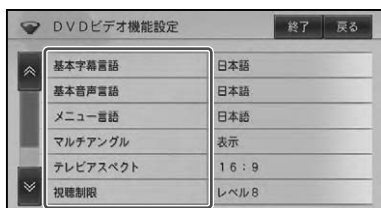
1 初期設定にタッチする



2 DVDビデオ機能設定にタッチする



3 各項目にタッチして設定する



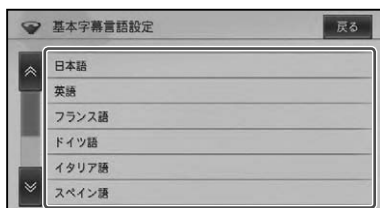
各設定項目の設定内容は、右側に表示されます。

基本字幕言語 DVD-V DVD-VR

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます(マルチ言語字幕)。

1 基本字幕言語にタッチする

2 それぞれの言語を設定する



日本語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、その他から選んでタッチします。

工場出荷時は「日本語」です。

メモ

- ・**その他**にタッチしたときは、「言語コード表」(→P61)より、4桁の言語コードを数字で入力します。
- ・選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が選ばれます。
- ・ディスクによっては設定した言語が優先されない場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

基本音声言語 DVD-V DVD-VR

優先して聞きたい音声の言語を設定することができます(マルチ音声)。
設定項目は基本字幕言語と同じです。
工場出荷時は「日本語」です。

メニュー言語 DVD-V DVD-VR

ディスクに収録されているメニュー画面の表示言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。
設定項目は基本字幕言語と同じです。
工場出荷時は「日本語」です。

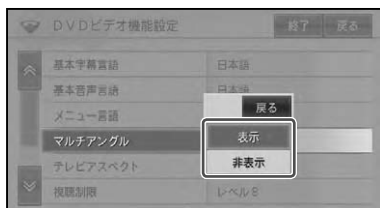
マルチアングル

DVD-V DVD-VR

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングル選択マークの表示/非表示を設定することができます。
工場出荷時は「表示」です。

1 マルチアングルにタッチする

2 表示または非表示にタッチする



表示	アングルマークを表示します。
非表示	アングルマークを表示しません。

メモ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像(マルチアングル)が収録されているディスクに対して有効です。

テレビアスペクト

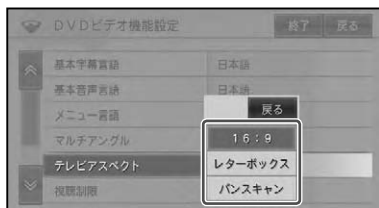
DVD-V DVD-VR

接続したテレビのアスペクト(画面の縦横比)を設定します。

工場出荷時は「16:9」です。

1 テレビアスペクトにタッチする

2 アスペクトを設定する



16:9

ワイドモニター(16:9)使用時に選びます。16:9で収録された画像が16:9で表示されます。

レターボックス

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の横幅を4:3モニターの横幅に合わせて16:9の比率で表示します。

パンスカン

ノーマルモニター(4:3)使用時に選びます。16:9で収録された画像の縦幅を4:3モニターの縦幅に合わせて16:9の比率で表示します(左右にはみ出た映像は表示されません)。

メモ

- 通常は16:9に設定してお使いください。リアモニターにノーマルモニターを接続した場合でアスペクト比をリアモニターに合わせた場合のみ設定を変えてください。
- パンスカン指定されていないディスクを再生したときは、**パンスカン**に設定してもレターボックスで再生されます。ディスクのパッケージなどで**16:9 PS**マークを確認してください。
- ディスクによっては、テレビアスペクトの変更ができないものもあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

視聴制限 DVD-V DVD-VR

視聴制限レベルが設定されているディスクでは、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面にパスワードを設定して視聴制限をかけることができます(パレンタルロック)。
工場出荷時は「8」です。

1 視聴制限 にタッチする**2 暗証番号を入力し、入力終了** にタッチする**メモ**

- はじめて操作する場合は、希望の暗証番号を登録してください。以後、視聴制限されたディスクを再生するときや制限レベルを変更するときは、登録した暗証番号の入力が必要になります。

3 制限レベルを設定する

設定レベル | 内容

8	ディスクをすべて再生します。
7～2	成人向けディスクの再生を禁止します(子供向けや一般向けディスクを再生します)。
1	子供向けのディスクのみ再生します。

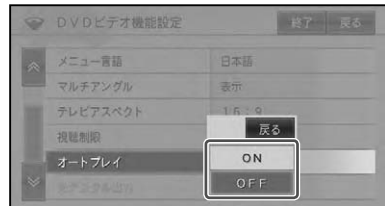
暗証番号を忘れたときは

暗証番号入力画面で**削除**に10回連続でタッチすると、暗証番号が解除されます。

オートプレイ DVD-V DVD-VR

DVDを挿入したときに、メニューのタイトル順に自動的に再生を開始するかどうかを設定します。

工場出荷時は「OFF」です。

1 オートプレイ にタッチする**2 ON または OFF** にタッチする

ON	自動再生します。
OFF	自動再生しません。

メモ

- オートプレイの設定をONにしても、ご使用されるディスクにより期待どおりの動作ができない場合があります。このような場合は、オートプレイをOFFにして再生してください。
- オートプレイの設定がONのときはリピート再生は機能しません。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー/サービスク

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

光デジタル出力

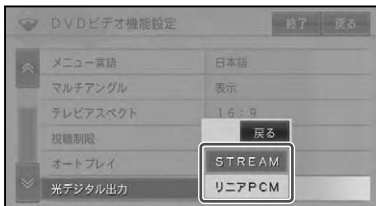
DVD-V DVD-VR

5.1ch 対応・DSP ユニット接続時に音声
が Dolby で 2ch Dual mono のディスク
の場合、リニア PCM に設定することで、音
声出力を切り換え (L/R 切換) てデジタル
出力が可能になります。

工場出荷時は「STREAM」です。

1 光デジタル出力にタッチする

2 STREAM または リニア PCM にタッチする



STREAM	ディスクに記録されているデータ方式で出力します。
リニアPCM	リニア PCM 方式に変換して出力します。

メモ

- 通常は STREAM に設定してお使いください。Dolby 2ch Dual mono のディスクで、主/副音声を切り換えて聞きたい場合は、設定を変えてください。

言語コード表

言語名 (言語コード)	入カコード
日本語 (ja)	1001
英語 (en)	0514
フランス語 (fr)	0618
スペイン語 (es)	0519
ドイツ語 (de)	0405
イタリア語 (it)	0920
中国語 (zh)	2608
オランダ語 (nl)	1412
ポルトガル語 (pt)	1620
スウェーデン語 (sv)	1922
ロシア語 (ru)	1821
韓国語 (ko)	1115
ギリシャ語 (el)	0512
アファル語 (aa)	0101
アブハジア語 (ab)	0102
アフリカーンス語 (af)	0106
アムハラ語 (am)	0113
アラビア語 (ar)	0118
アッサム語 (as)	0119
アイマラ語 (ay)	0125
アゼルバイジャン語 (az)	0126
バシキール語 (ba)	0201
ベラルーシ語 (be)	0205
ブルガリア語 (bg)	0207
ビハーリー語 (bh)	0208
ビスラマ語 (bi)	0209
ベンガル語 (bn)	0214
チベット語 (bo)	0215
ブルトン語 (br)	0218
カタロニア語 (ca)	0301
コシカ語 (co)	0315
チェコ語 (cs)	0319
ウェールズ語 (cy)	0325
デンマーク語 (da)	0401
ブータン語 (dz)	0426
エスペラント語 (eo)	0515
エストニア語 (et)	0520
バスク語 (eu)	0521
ペルシア語 (fa)	0601
フィンランド語 (fi)	0609
フィジー語 (fj)	0610
フェロー語 (fo)	0615
フリジア語 (fy)	0625
アイルランド語 (ga)	0701
スコットランドゲール語 (gd)	0704
ガルシア語 (gl)	0712

言語名 (言語コード)	入カコード
グアラニ語 (gn)	0714
グジャラート語 (gu)	0721
ハウサ語 (ha)	0801
ヒンディー語 (hi)	0809
クロアチア語 (hr)	0818
ハンガリー語 (hu)	0821
アルメニア語 (hy)	0825
国際語 (ia)	0901
interlingue (ie)	0905
イヌピアック語 (ik)	0911
インドネシア語 (in)	0914
アイスランド語 (is)	0919
ヘブライ語 (iw)	0923
イディッシュ語 (ji)	1009
ジャワ語 (jw)	1023
グルジア語 (ka)	1101
カザフ語 (kk)	1111
グリーンランド語 (kl)	1112
カンボジア語 (km)	1113
カンナダ語 (kn)	1114
カシミール語 (ks)	1119
クルド語 (ku)	1121
キルギス語 (ky)	1125
ラテン語 (la)	1201
リンガラ語 (ln)	1214
ラオス語 (lo)	1215
リトアニア語 (lt)	1220
ラトビア語 (lv)	1222
マダガスカル語 (mg)	1307
マオリ語 (mi)	1309
マケドニア語 (mk)	1311
マラヤーラム語 (ml)	1312
モンゴル語 (mn)	1314
モルダビア語 (mo)	1315
マラータ語 (mr)	1318
マライ語 (ms)	1319
マルタ語 (mt)	1320
ビルマ語 (my)	1325
ナウル語 (na)	1401
ネパール語 (ne)	1405
ノルウェー語 (no)	1415
プロバンス語 (oc)	1503
オロモ語 (om)	1513
オリヤー語 (or)	1518
パンジャブ語 (pa)	1601
ポーランド語 (pl)	1612

言語名 (言語コード)	入カコード
アフガニスタン語 (ps)	1619
ケチュア語 (qu)	1721
レートロマン語 (rm)	1813
キルンディ語 (rn)	1814
ローマ語 (ro)	1815
キニヤルワンダ語 (rw)	1823
サンスクリット語 (sa)	1901
シンド語 (sd)	1904
サンド語 (sg)	1907
セルボクロアチア語 (sh)	1908
セイロン語 (si)	1909
スロバック語 (sk)	1911
スロベニア語 (sl)	1912
サモア語 (sm)	1913
ショナ語 (sn)	1914
ソマリ語 (so)	1915
アルバニア語 (sq)	1917
セルビア語 (sr)	1918
シスワティ語 (ss)	1919
セストゥ語 (st)	1920
スンダ語 (su)	1921
スワヒリ語 (sw)	1923
タミル語 (ta)	2001
テルグ語 (te)	2005
タジル語 (tg)	2007
タイ語 (th)	2008
チグリス語 (ti)	2009
ツルキ語 (tk)	2011
タガログ語 (tl)	2012
セツワナ語 (tn)	2014
トンガ語 (to)	2015
トルコ語 (tr)	2018
ツォンガ語 (ts)	2019
タタール語 (tt)	2020
トウィ語 (tw)	2023
ウクライナ語 (uk)	2111
ウルドゥー語 (ur)	2118
ウズベク語 (uz)	2126
ベトナム語 (vi)	2209
ボラビュク語 (vo)	2215
ウォルフ語 (wo)	2315
コーサ語 (xh)	2408
ユルバ語 (yo)	2515
ズールー語 (zu)	2621

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マイナー機能

その他の機能

AV初期設定

その他の機能

付録

DivXの再生

DivXの基本的な再生のしかたについて説明します。

！ 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため、走行中はモニターに映像が表示されません。

再生する

1 ディスクを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に再生が始まります。

メモ

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、AVソースを切り換えてください。(→P12)
- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P122)を参照してください。
- 再生を中止するには、**■**にタッチするかAVソースをOFFにします。(→P12)

操作タッチキーの表示のしかた

ディスクの操作をタッチパネルで行うときは、操作タッチキーを表示して操作します。操作タッチキーは2ページあります。

1 再生中に画面にタッチする

操作タッチキー 1



リスト画面表示中のみ1つ上のフォルダーの情報を表示します。ルートディレクトリ表示中またはフォルダーが無い場合は操作できません。

メディアの切換

音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC データ (ROM) と DivX のいずれかのデータが混在しているディスクを挿入した場合に、再生するデータを切り換えます。(→P68)

初期設定

AV 初期設定画面を表示します。(→P104)



(タッチし続ける)

ファイル操作を行います。指を離すまで早戻し/早送りを行います。約5秒以上操作し続けると、早戻し/早送りのままになります。**◀◀**/**▶▶** または **▶▶** にタッチすると、通常再生に戻ります。

▶/ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
 ▶	コマ送り再生/スロー再生を行います。(→ P63, 64)
■	再生を停止します。停止した場所を記憶し、次回同じディスクを再生すると、続きから再生されます。(ディスクによっては続きから再生されない場合があります。)
CMバック/CMスキップリスト	一定の秒数だけ早送り/早戻しを行います。(→ P64)
次ページ	タイトルリストを表示します。(→ P65)
次ページ	操作タッチキー2に切り換えます。

操作タッチキー 2



字幕切換	再生中に字幕を切り換えます。(マルチ字幕) (→ P66)
音声切換	再生中に音声を切り換えます。(マルチ音声) (→ P67)
10キーサーチ	ダイレクトサーチを行います。(→ P66)
リピート	リピート再生を行います。(→ P67)
前ページ	操作タッチキー1を切り換えます。

メモ

- **ビュー** にタッチすると操作タッチキーは消えます。

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	ファイルのダウン/アップ
◀P.List/Trk▶ を長く押す	フォルダーのダウン/アップ

リモコンで操作する場合：

▲▼ を押す	フォルダーのアップ/ダウン
◀▶ を押す	ファイルのダウン/アップ
◀▶ を長く押す	早戻し/早送り

コマ送り再生

再生中の映像を1コマずつ止めながら、進めて見るができます。

1 **||▶** にタッチする



タッチすることにより、映像が1コマずつ送られます。

メモ

- **▶/||** にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、コマ送り再生時に映像が乱れる場合があります。
- ディスクや再生位置によって、**ⓧ** (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

スロー再生



再生スピードを遅くして見るができます。

1 に2秒以上タッチする



送り方向にスロー再生されます。

メモ

-  にタッチすると通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、スロー再生中に映像が乱れる場合があります。
- 戻り方向のスロー再生はできません。
- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

CM スキップ / バック

再生中の映像を、一定の秒数だけ早戻し / 早送りします。CMなどを飛ばして再生するときなどに使うと便利です。


1 **CMスキップ** または **CMバック** にタッチする



タッチすることにより、以下のような秒数で早戻し / 早送りされます。

CM スキップ (早送り)	「30秒」 → 「1分」 → 「1分30秒」 → 「2分」 → 「3分」 → 「5分」 → 「10分」 → 「0秒」 → 「30秒」 に戻る
	「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」 → 「1分」 → 「2分」 → 「3分」 → 「0秒」 → 「5秒」 に戻る
	「5秒」 → 「15秒」 → 「30秒」 → 「1分」 → 「2分」 → 「3分」 → 「0秒」 → 「5秒」 に戻る

メモ

- ディスクや再生位置によって、 (禁止マーク) が表示され、操作できない場合があります。

リストからファイルを選んで再生する

リストから見たいファイルを選んで再生することができます。

1 リストにタッチする



2 見たいファイルにタッチする



選んだファイルが再生されます。

メモ

- 何も操作をしないと、DivXのリスト画面と操作タッチキーは約20秒で消えます。
- もう一度**リスト**にタッチすると、再生画面に戻ることができます。
- フォルダーの項目をタッチした場合は、フォルダー内のファイルのリストが表示されます。
- **◀**にタッチすると、1つ上のフォルダー内を表示します。また、**◀P.List/Trk▶**を長く押しすと、フォルダーを送ったり戻ったりすることができます。

レンタルコンテンツのファイルを選んだ場合

レンタルコンテンツのファイルを選んで再生する場合は、以下の画面が表示されます。



はいまたは**いいえ**にタッチします。

	ディスクを停止します。
	前のファイルを表示します。
	次のファイルを表示します。

メモ

- DivXのレンタルコンテンツをダウンロードする場合は、AV初期設定の「DivX VODコード」(→P113)でレジストレーションコードを入力して行ってください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

スーパーブック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ダイレクトサーチ

見たい場面を数字で指定して再生することができます。

1 10キーサーチにタッチする



2 指定する方法(サーチの種類)にタッチする

FOLDER、**TIME**、**FILE** が選べます。



数字キー

3 見たい場面の番号を入力し、**決定**にタッチする

FOLDER	フォルダー番号を入力します。
TIME	時間を分・秒で入力します。 分・秒にタッチすると分と秒を 確定します。
FILE	ファイル番号を入力します。

指定した場面から再生を始めます。

字幕言語の切り換え

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます(マルチ字幕)。

1 字幕切換にタッチする



タッチするごとに、字幕言語が切り換わります。

メモ

- ディスクによっては、収録されているディスクメニューでしか切り換えることができない場合があります。

音声言語の切り換え

音声が多数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます(マルチ音声)。

1 音声切換にタッチする



▼
タッチすることにより、音声言語が切り換わります。

メモ

- [Dolby D] や [5.1ch] などの表示は、ディスクに収録されている音声の内容を表示しています。実際に再生される音声は、設定により表示とは異なる場合があります。

リピート再生

指定したディスク、フォルダー、ファイルを繰り返して再生することができます。例えば、リピートの範囲をFILE REPEATに指定すると、再生中のファイルを繰り返し見ることができます。

1 リピートにタッチする



▼
タッチすることにより、リピートの範囲が次のように切り換わります。

DISC REPEAT (表示なし) →
FILE REPEAT → FOLDER REPEAT
→ DISC REPEAT (表示なし) に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
FILE REPEAT	再生中のファイルを繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します。

メモ

- 選んだリピート範囲は、画面に表示されますが通常再生であるDISC REPEATは画面に表示されません。
- ディスクまたは再生位置によっては、ⓧ(禁止マーク)が表示され、リピート再生できない場合があります。
- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作(FILE REPEAT中のファイルの切り換えなど)を行うと、リピート再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー/サバービック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

再生メディアの切り換え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスクを挿入した場合に、再生するデータを切り換えます。

1 メディアの切換 にタッチする



▼
再生するデータ形式が切り換わります。

ミュージックサーバー

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ミュージックサーバーに録音する	70	プレイリストやトラックを編集する	79
ミュージックサーバー (MSV) とは	70	詳細・編集画面を表示する	79
録音についてのご注意	70	プレイリストの詳細・編集画面を表示する	79
CD 録音の制限について	70	トラックの詳細・編集画面を表示する	80
タイトル表示について	71	プレイリストの再生順を変更する	81
録音設定	71	プレイリストまたはトラックの タイトルやよみを変更する	81
CD を自動的に録音する	72	アルバムグループ内のプレイリストまたは トラックのアーティスト名を変更する	82
CD を手動で録音する	72	アルバムグループから プレイリストを消去する	82
CD の 1 曲目だけを自動的に録音する	73	アルバムグループ内のプレイリストから トラックを消去する	83
ミュージックサーバーの聴きかた	74	プレイリストに画像を設定する	84
グループ、プレイリスト、トラックについて	74	トラックのジャンルを変更する	84
再生する	74	トラック詳細情報画面でトラックを消去する	85
表示画面を切り換える	75	お好みプレイリストの トラック再生順を変更する	85
リストから選んで再生する	75	お好みプレイリストからトラックを消去する	86
リピート再生	76	USB メモリーから楽曲を取り込む	87
ランダム再生	77	タイトル情報を取得する	88
スキャン再生	77	タイトル情報について	88
お好みプレイリスト	78	取得できる情報	88
マイミックスにトラックを追加する	78	No Title 表示について	88
お好みプレイリストにトラックを追加する	78	タイトル情報を取得する	88
		No Title リストのタイトル情報を取得する	89
		No Title リストの登録を解除する	90

ミュージックサーバーに録音する

音楽用CDの楽曲を、本機のハードディスクに録音することができます。

ミュージックサーバー(MSV)とは

音楽CDを本機のハードディスクに録音していろいろな方法で再生できる機能です。ミュージックサーバーを楽しむには、まず音楽CDを録音することから始めます。

メモ

- ミュージックサーバーには、CD約240枚分の録音ができます。
- CD以外のAVソース(ラジオやDVDなど)は録音できません。
- 音楽CDの録音以外に、USBメモリー経由で音楽データ(WMA/MP3)をミュージックサーバーに転送することができます。(パソコンリンクソフト「ナビスタジオ(楽ナビ用) Ver.2.1」を使用)

録音についてのご注意

録音する前にお読みください。

！ 注意

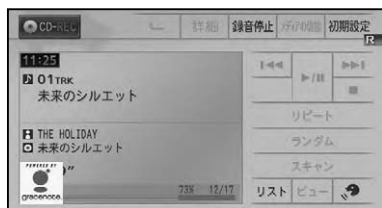
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音操作の確認や録音後に録音内容の確認を行ってください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合により、録音されなかった場合の録音内容、および消失した録音データの補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 高効率の圧縮方式を採用しているため、音源によっては原音と異なって聞こえる場合があります。またノイズが発生する可能性があります。

CD録音の制限について

- 標準的なCD(44.1kHz、16ビットステレオのPCMデジタル音声データ)以外のCDからは録音できません。
- コピーコントロールCDの録音については保証していません。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体(CD-Rなど)から、ミュージックサーバーに録音(コピー)することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム(SCMS)の働きによるものです。
- パーシャルディスク、DTS-CDから録音することはできません。
- WMA/MP3/AACファイルを記録した媒体(CD-Rなど)から、ミュージックサーバーに録音することはできません。
- 録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ライブCDなどの曲間が途切れないCDを録音しているときにエンジンを停止したりして電源がOFFになった場合には、再生時に曲間で音が途切れる場合があります。
- CD録音時に、1つのプレイリストに録音できるトラック数は、最大で99個までです。
- TOC情報(Table of Contents: 曲数や時間など)の記録されていないCDは、録音することができません。
- 1曲目(トラック)がDTS(Digital Theater Sound Systems: 5.1chサラウンドなど)音声のCDは録音することができません。
- 2曲目以降にDTS音声のトラックが収録されているCDは、DTSのトラックがノイズとして録音されます。

タイトル表示について

内蔵の Gracenote® 音楽認識サービス (CDDB) から情報が取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。



メモ

- CD TEXT から情報が取得できた場合は、CD TEXT の情報が優先して表示されます。
- タイトル情報に複数の候補があった場合や、タイトル情報が収録されていなかった場合は、「No Title」と表示され、自動的に No Title リストへ追加されます。その場合は、タイトル情報を取得しなおすと、正しいタイトルを表示させることができる場合があります。→「**タイトル情報を取得する**」(P88)
- CD 再生中画面や CD 録音中画面に表示されるタイトル情報は、ミュージックサーバーと共通のタイトル情報を使用しています。ミュージックサーバーでタイトル情報を編集すると、それぞれの画面のタイトルにも反映されます。
- タイトル情報は、そのディスクの曲が 1 曲以上ミュージックサーバーに録音されていないと編集できません。→「**プレイリストやトラックを編集する**」(P79)

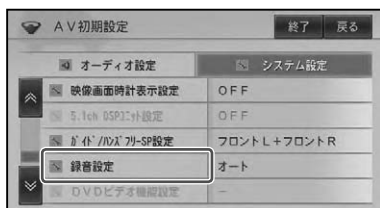
録音設定

CD の録音モード (オート、マニュアル、シングル) の録音設定を行います。工場出荷時は「オート」です。

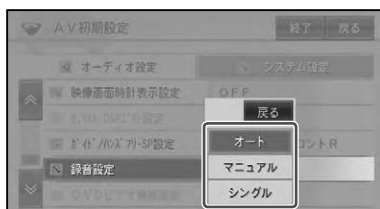
メモ

- 録音中は設定できません。

1 初期設定—システム設定(タブ)—録音設定にタッチする



2 項目にタッチして設定する



オート	CD を再生すると、自動的にすべての曲を録音します。
マニュアル	録音したい曲を手動で選び、録音します。
シングル	CD の 1 曲目だけを自動的に録音します。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付録

CD を自動的に録音する

録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックサーバーへの録音が始まります。

1 録音モードを「オート」にする (→ P71)

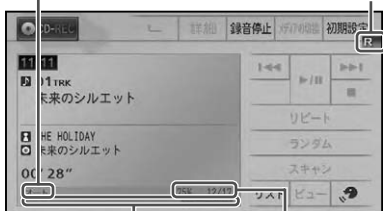
※工場出荷時は「オート」になっています。

2 録音したいCDを挿入する (→ 『スタートブック』)

自動的に録音が始まります。

「オート」表示

録音表示



録音プログレスバー 録音進捗 (%) / 録音済み曲数

メモ

・リスト画面表示中は、以下のマークがそれぞれ表示されます (マークの色は、メニューカスタマイズ (→ 『ナビゲーションブック』 - 『設定操作』 - 『メニューカスタマイズ』) の設定により、異なる場合があります)。

- (赤) : 録音中の曲を示します。
- (灰) : 未録音の曲を示します。
- ▶ (黒/白) : 録音が完了した曲を示します。
- ▶ (黄) : 再生中の曲を示します。

- ・すべての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生 (ランダム再生など) はできません。選曲操作が必要な場合は、**録音停止** にタッチして録音を中止してください。
- ・すべての曲の録音と現在再生中のトラックの再生が終わるとCD再生画面に切り換わります。
- ・CDからの録音は4倍速で録音しています。録音中に再生している音はミュージックサーバーに録音された音になります。

- ・CDから録音されたプレイリストは、50種類の中からランダムに画像が登録されます。
- ・CD録音中に他のAVソースを楽しむことができます。他のAVソースに切り換えてもCDの録音は継続しています。
- ・録音中は、右上に録音中のマーク**R**が表示されます。

CD を手動で録音する

CDの中から、好みの曲だけを録音することができます。

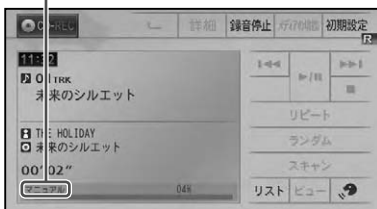
1 録音モードを「マニュアル」にする (→ P71)

※工場出荷時は「オート」になっています。

2 録音したい曲を再生する (→ P74)

3 ●録音にタッチする

「マニュアル」表示



再生中の曲は始めに戻って録音が始まります。録音が終了し、再生中のトラックの再生が終わるとCD再生画面に切り換わります。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDの1曲目だけを録音することができます。シングルCDなどを連続して録音するときには便利なモードです。

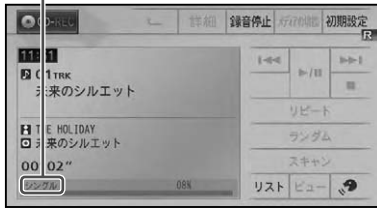
1 録音モードを**シングル**にする (→P71)

※工場出荷時は「オート」になっています。

2 録音したいCDを挿入する(→『スタートブック』)

自動的に録音が始まります。

「シングル」表示



1曲目の録音が終了し、再生中のトラックの再生が終わるとCD再生画面に切り換わります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

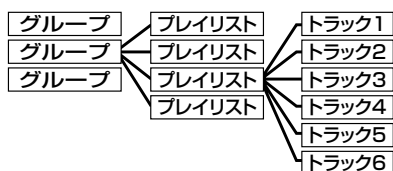
付録

ミュージックサーバーの聴きかた

ハードディスクに録音した音楽は、ミュージックサーバー（MSV）というAVソースで聴きます。

グループ、プレイリスト、トラックについて

ミュージックサーバーは、次のようにグループ、プレイリスト、トラックの3つの階層で構成されています。



グループには以下のようなものがあります。

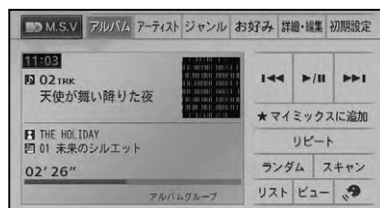
アルバムグループ	録音した曲データそのものが格納されているグループです。CDを1枚録音すると1つのプレイリストが作成されます。また、パソコンから転送した場合も、転送結果に基づいてプレイリストが1つまたは複数作成されます。
アーティストグループ	タイトル情報のアーティスト名別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
ジャンルグループ	録音されたトラックのジャンル情報別に自動分類されたプレイリストが格納されているグループです。
お好みグループ	ユーザーが好みに応じて作成したお好みの曲順プレイリストが格納されているグループです。

再生する

ミュージックサーバーに録音した曲を再生します。

1 AVソースをMSVにする (→P12)

前回表示していた画面が表示され、続きから再生されます。



アルバム、アーティスト、ジャンル、お好み	それぞれのグループのプレイリストを表示します。
詳細・編集	再生中のプレイリストやトラックの詳細情報の表示や編集 (→P79) を行います。
初期設定	AV初期設定画面を表示します。(→P104)
◀▶	トラック操作を行います。
◀▶ (タッチし続ける)	早戻し/早送りを行います。
▶ 	再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。
★マイミックスに追加 (2秒以上タッチする)	お好みグループのマイミックスへの登録 (→P78) を行います。
リビート	リビート再生を行います。(→P76)
ランダム	ランダム再生を行います。(→P77)

スキャン	スキャン再生を行います。(→P77)
リスト	リスト表示を切り換えます。(→P75)

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を押す	トラックのアップ/ダウン
◀P.List/Trk▶ を長く押す	プレイリストのアップ/ダウン

リモコンで操作する場合：

▲ ▼ を押す	プレイリストのアップ/ダウン
◀ ▶ を押す	トラックのアップ/ダウン
◀ ▶ を長く押す	早戻し/早送り

メモ

- 再生を中止するにはAVソースをOFFにします。(→P12)

表示画面を切り換える

ミュージックサーバーの表示画面を切り換えることができます。

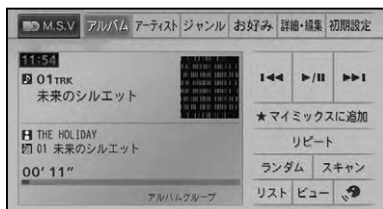
1 ビューにタッチする

タッチすることにより、画面表示が切り換わります。

メモ

- プレイリストに画像を設定しておくこと、プレイリストおよびトラックリスト表示中に、通常リストを除き、設定した画像が表示されます。→「プレイリストに画像を設定する」(P84)
- CDから録音されたプレイリストは、50種類の中からランダムに画像が登録されます。

再生情報画面



画像表示画面



メモ

- 画像表示画面で**ビュー**にタッチすると、再生情報画面に、**リスト**にタッチすると、リスト画面に表示が切り換わります。

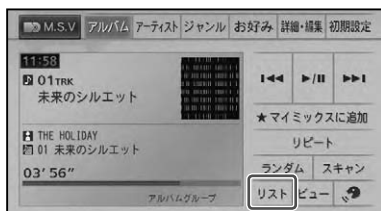
リストから選んで再生する

リストを表示して、プレイリストやトラックを直接選んで再生することができます。

メモ

- リスト表示の内容は、メニューカスタマイズのリストサイズカスタマイズの設定によって異なります。リストサイズカスタマイズについては「ナビゲーションブック」-「設定操作」-「メニューカスタマイズ」をご覧ください。

1 各グループ名またはリストにタッチする



再生中のグループまたはプレイリストの内容(グループ内のプレイリスト、プレイリスト内のトラックリスト)が表示されます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

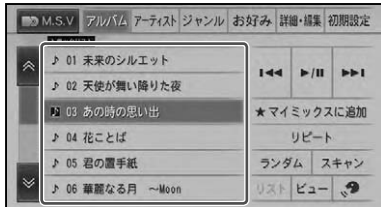
その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

2 聴きたいプレイリストまたはトラックにタッチする



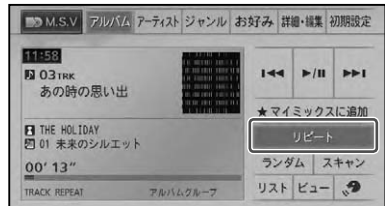
メモ

- 通常再生画面に戻るには、**ビュー**にタッチします。
- リスト画面は、何も操作しないと、約20秒間で消え、通常再生画面に戻ります。

リピート再生

指定したグループ、プレイリスト、トラックを繰り返して再生することができます。例えば、リピートの範囲をTRACK REPEATに指定すると、再生中のトラックを繰り返し聴くことができます。

1 リピートにタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

GROUP REPEAT (表示なし) →
TRACK REPEAT → PLAYLIST REPEAT
→ GROUP REPEAT (表示なし)に戻る

GROUP REPEAT	通常の再生状態です。再生中のグループを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラックを繰り返します。
PLAYLIST REPEAT	再生中のプレイリストを繰り返します。

メモ

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作を行うと、リピート再生が中止される場合があります。
- TRACKリピート再生中に、ランダム再生、スキャン再生を行うと、リピート範囲はPLAYLIST REPEATに切り換わります。
- 通常再生であるGROUP REPEATは、情報表示画面に表示されません。

ランダム再生

選んだリピートの範囲(→P76)で、トラックの再生順を変えて再生することができます。

1 ランダム にタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

メモ

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はPLAYLIST REPEATに自動的に切り換わります。
- ランダム再生中にその他の再生操作(リピート再生、スキャン再生など)やリピートの範囲を超える操作(プレイリストの切り換えなど)を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

スキャン再生

選んだリピートの範囲(→P76)で、各トラックや各プレイリストの先頭曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ聞くことができます。

聴きたいトラックやプレイリストを探すときに使います。

聴きたいトラックを探すとき

プレイリスト内の各トラックの演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。

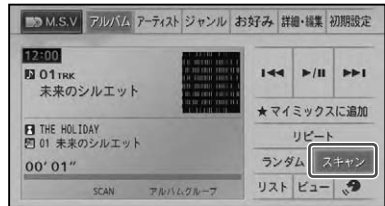
- トラックリスト(→P75)から再生するか、リピート範囲をプレイリストリピートに指定する

聴きたいプレイリストを探すとき

グループ内の各プレイリストの先頭曲の演奏開始部分を約10秒間ずつ再生します。

- プレイリストのリスト(→P75)から再生するか、リピート範囲をグループリピートに指定する

1 スキャン にタッチする



タッチすることにより、スキャンのON/OFFが切り換わります。

2 聴きたいトラックまたはプレイリストが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

スキャン再生がOFFになり、選んだトラックまたはプレイリストが再生されます。

メモ

- スキャン再生を始めたトラックまで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- スキャン再生中にその他の再生(リピート再生、ランダム再生など)やリピートの範囲を超える操作(プレイリストの切り換えなど)を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

お好みプレイリスト

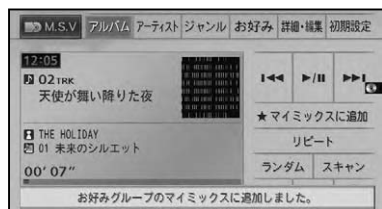
アルバム、アーティスト、ジャンル、お好みの各グループのプレイリストから、曲(トラック)を選んで編集し、お好みのプレイリストを作成することができます。お好みプレイリストには、再生中の曲をワンタッチで登録できる「マイミックス」と、トラックやプレイリストの詳細情報画面から曲を登録する「お好みプレイリスト(1~4)」があります。

マイミックスにトラックを追加する

再生中に、気に入った曲(トラック)を、マイミックスというプレイリストにワンタッチで登録することができます。登録した曲は、好きなときに呼び出して聴くことができます。

1 再生中に★マイミックスに追加に2秒以上タッチする

再生中の曲が、マイミックスに登録されます。



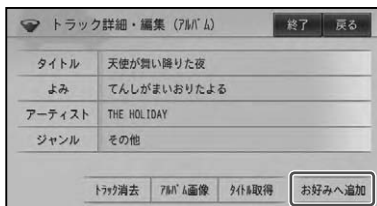
メモ

・マイミックスには99トラックまで登録することができます。

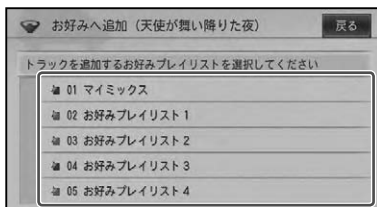
お好みプレイリストにトラックを追加する

お好みのトラック(曲)だけを集めて、1つのプレイリストに登録することができます。登録するプレイリストは、マイミックス以外に4つのプレイリストが用意されています。登録した曲は、好きなときに呼び出して聴くことができます。

1 トラックやプレイリストの詳細・編集画面(→P79, 80)で**お好みへ追加**にタッチする



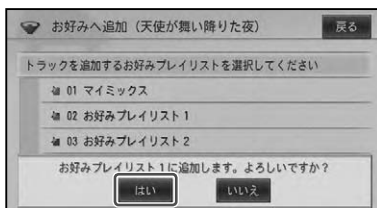
2 追加するプレイリスト(1~4)またはマイミックスにタッチする



メモ

・プレイリスト詳細・編集画面(→P79)から**お好みへ追加**にタッチした場合は、登録するトラックを選ぶ画面が表示されます。

3 **はい**にタッチする



選んだトラックが、お好みプレイリストに登録されます。

メモ

・1つのプレイリストには99トラックまで登録することができます。

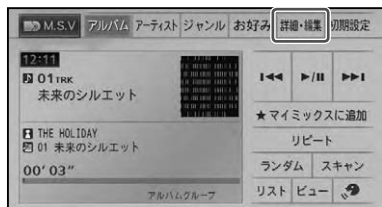
プレイリストやトラックを編集する

ミュージックサーバーに録音した曲やお好みで作成したプレイリストの編集や削除をすることができます。

詳細・編集画面を表示する

詳細・編集画面では、プレイリスト、トラックの詳細情報やNo Titleリストを表示することができます。また、USBメモリーからの楽曲取り込みを行うこともできます。

1 詳細・編集画面を表示したいプレイリストまたはトラックを選んで詳細・編集にタッチする

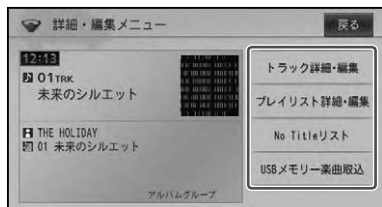


▼
詳細・編集画面が表示されます。

メモ

・他のプレイリストやトラックの詳細・編集画面を表示したい場合は、一度再生情報画面(→P75)に戻り、プレイリストまたはトラックを選びなおしてから**詳細・編集**にタッチしてください。

2 操作したい項目にタッチする



トラック詳細・編集	現在再生中のトラックの詳細情報を表示して、タイトル名などの編集を行います。(→P80)
------------------	---

プレイリスト詳細・編集	現在再生中のプレイリストの詳細情報を表示して、タイトル名などの編集を行います。(→P79)
--------------------	---

No Titleリスト	No Titleリストに登録(→P89)された楽曲の一覧を表示し、通信機能を使ってタイトル名の取得を行います。(→P88)
--------------------	---

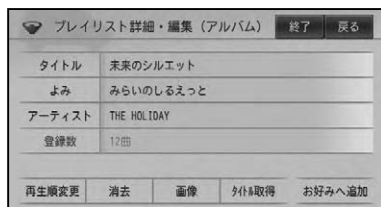
USBメモリー楽曲取込	パソコンリンクソフト「ナビスタジオ(楽ナビ用) Ver.2.1」を使って、パソコンからUSBメモリーへ転送した楽曲データ(WMA/MP3)を本機に取り込みます。(→P87)
--------------------	--

プレイリストの詳細・編集画面を表示する

1 詳細・編集画面でプレイリスト詳細・編集にタッチする

▼
プレイリストの詳細・編集画面が表示されます。

例：アルバムグループの場合



タイトル、よみ	選んだプレイリストのタイトルやよみを変更します。(→P81)
----------------	--------------------------------

アーティスト	選んだプレイリスト内のアーティスト名をすべて変更します。(→P82)
---------------	------------------------------------

登録数	選んだプレイリストに登録されているトラック数が表示されます。
------------	--------------------------------

再生順変更	プレイリストの再生順を変更します。(→ P81)
消去	選んだプレイリストまたはプレイリスト内のトラックを消去します。(→ P82)
画像	アルバムグループのプレイリストにオリジナル画像を設定できます。(→ P84)
タイトル取得	アルバムグループのプレイリスト内トラックのタイトル情報を取得します。(→ P88)
お好みから消去	お好みプレイリストの中からトラックを選んで消去します。(→ P86)
お好みへ追加	選んだプレイリストの中からトラックを選んでお好みプレイリストに登録します。(→ P78)

 **メモ**

- **お好みから消去** は、お好みグループのプレイリスト再生中に操作できます。
- プレイリストによって、編集できる内容や表示される内容は異なります。

トラックの詳細・編集画面を表示する

1 詳細・編集画面(→P79)で トラック詳細・編集にタッチする

トラックの詳細・編集画面が表示されます。



タイトル 、 よみ	選んだトラックのタイトルやよみを変更します。(→ P81)
アーティスト	選んだトラックのアーティスト名のみ変更します。(→ P82)

ジャンル	選んだトラックのジャンルを変更します。(→ P84)
アルバム画像	アルバムグループのプレイリストにオリジナル画像を設定できます。(→ P84)
再生順変更	選んだお好みグループ内のトラックの再生順を変更します。(→ P85)
トラック消去	選んだトラックを消去します。(→ P85)
タイトル取得	アルバムグループのプレイリスト内トラックのタイトル情報を取得します。(→ P88)
お好みから消去	選んだトラックをお好みプレイリストから消去します。(→ P86)
お好みへ追加	選んだトラックをお好みプレイリストに登録します。(→ P78)

 **メモ**

- **再生順変更** は、お好みグループ内のトラックを再生中に操作できます。
- **トラック消去** は、お好みグループ以外のグループのトラックを再生中に操作できます。お好みグループのトラックを消去する場合は、お好みグループのトラックを再生中に、**お好みから消去** を操作します。

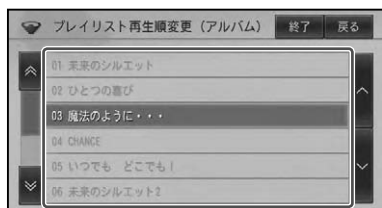
プレイリストの再生順を変更する

アルバム、お好みの各グループに登録されているプレイリストの再生順を変更します。

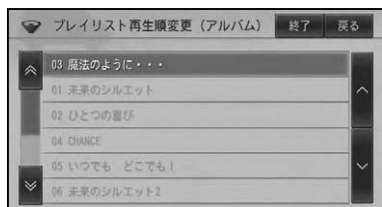
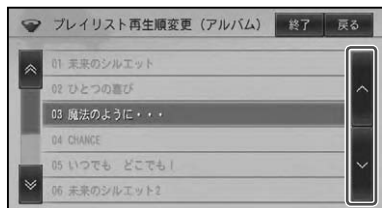
メモ

- アーティストグループやジャンルグループは再生順を変更できません。

- 1 プレイリスト詳細・編集画面(→P79)で**再生順変更**にタッチする
- 2 順番を変更したいプレイリストにタッチする



- 3 **▲/▼**にタッチして、移動先を決める



- 4 **終了**にタッチする

メモ

- 「戻る」にタッチすると引き続き他の情報を編集することができます。

プレイリストまたはトラックのタイトルやよみを変更する

プレイリストまたはトラックのタイトルやよみを変更します。タイトルは表示用に、よみは音声操作に使用します。ここで変更したタイトルはCDやミュージックサーバーの再生画面に表示されます。

メモ

- 「マイミックス」のタイトルとよみは、変更できません。

- 1 プレイリスト詳細・編集画面(→P79) またはトラック詳細・編集画面(→P80)で**タイトル**または**よみ**にタッチする
- 2 文字を入力(→『ナビゲーションブック』)して**入力終了**にタッチする

▼
詳細・編集画面に戻ります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

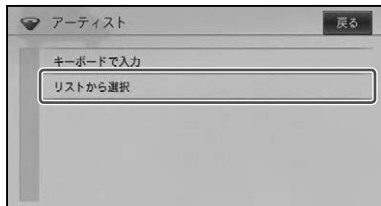
付録

アルバムグループ内のプレイリストまたはトラックのアーティスト名を変更する

アルバムグループ内のプレイリストまたはトラックのアーティスト名を変更します。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P79) またはトラック詳細・編集画面(→P80)で **アーティスト** にタッチする

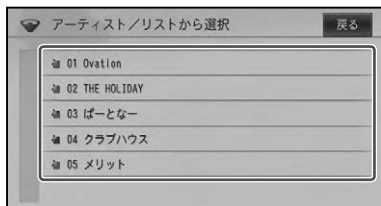
2 リストから選択にタッチする



メモ

- ・ **キーボードで入力** にタッチすると文字入力画面になり、名称をキーボードで入力できます。
→「ナビゲーションブック」－「その他の操作」－「文字の入力操作」

3 変更したいアーティストにタッチする



4 はい にタッチする



▼
詳細・編集画面に戻ります。

アルバムグループからプレイリストを消去する

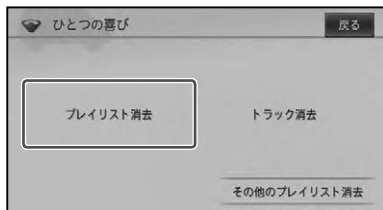
アルバムグループに登録されているプレイリストを消去します。

メモ

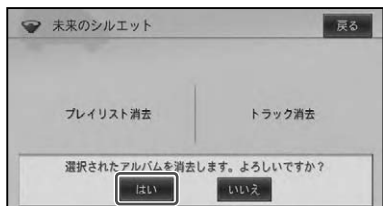
- ・アルバムグループのプレイリストを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したプレイリストがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのプレイリストも同時に消去されます。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P79)で **消去** にタッチする

2 プレイリスト消去 にタッチする



3 はい にタッチする

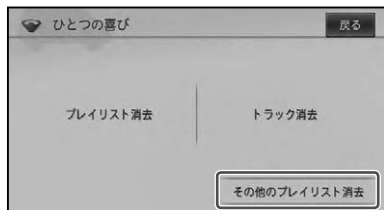


▼
選んだプレイリストが消去されます。

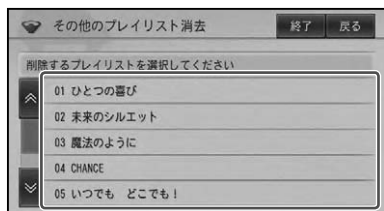
その他のプレイリスト消去にタッチした場合

詳細・編集画面を表示したプレイリストが、消去したいプレイリストでなかった場合など、**その他のプレイリスト消去**にタッチすると、アルバムグループ内の、他の（詳細・編集画面を表示していない）プレイリストを消去することができます。

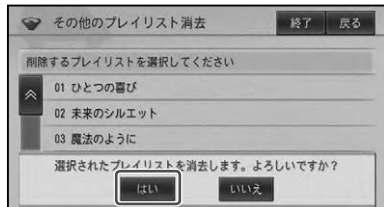
1 P82「アルバムグループからプレイリストを消去する」の手順 2 で**その他のプレイリスト消去**にタッチする



2 消去するプレイリストにタッチする



3 **はい**にタッチする



▼
選んだプレイリストが消去されます。

アルバムグループ内のプレイリストからトラックを消去する

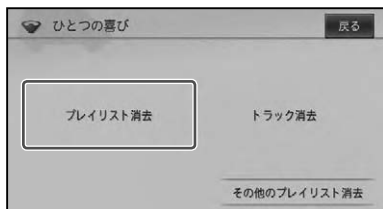
アルバムグループのプレイリスト内のトラックを消去します。

メモ

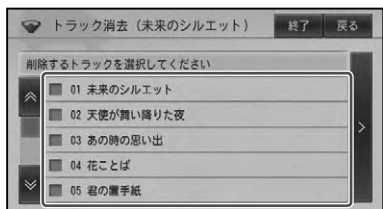
- アルバムプレイリストのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますのでご注意ください。また、消去したトラックがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。
- アーティストグループ、ジャンルグループからプレイリスト内のトラックは消去できません。
- お好みプレイリストからトラックを消去する場合は、「お好みプレイリストからトラックを消去する」(→P86)をご覧ください。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P79)で**消去**にタッチする

2 **トラック消去**にタッチする



3 消去したいトラックにタッチする



選んだトラックには☑️チェックマークが付きます。引き続き選ぶことができます。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

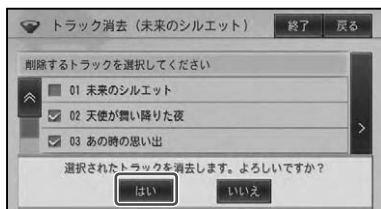
その他の機能

付録

メモ

- ▶ **▶** にタッチしてサブメニューを表示すると、**全選択**が表示されすべての曲を選択することができます。選択を解除するには、もう一度サブメニューを開いて**全解除**にタッチするか解除したい曲にタッチします。

4 終了 **はい** にタッチする



選んだトラックが消去されます。

プレイリストに画像を設定する

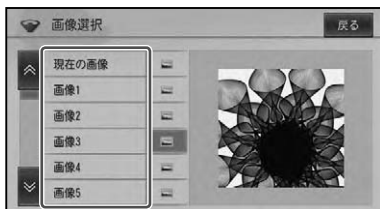
ミュージックサーバー再生時に、AVソース画面に画像を表示させることができます(プレイリスト画像リンク)。(→P75) 本機には、あらかじめ50種類の画像が収録されていますが、お好みの画像をUSBメモリー経由で読み込ませることもできます。

メモ

- USBメモリー経由で画像を読み込ませるには、あらかじめパソコンリンクソフト「ナビスタジオ (楽ナビ用) Ver.2.1」を使用してアルバム用の画像をUSBメモリーに転送して本機に接続しておきます。
- CDから録音されたプレイリストには、50種類の中からランダムに画像が登録されます。

1 プレイリスト詳細・編集画面(→P79)で **画像** **またはトラック詳細・編集画面(→P80)で** **アルバム画像** **にタッチする**

2 お好みの画像を選んで、画像名にタッチする



選んだ画像が設定されます。

メモ

- 情報更新タッチキー(→P11)にタッチすると、画像をプレビューすることができます。
- USBメモリーから読み込んだ画像は、リストに加えられます。

トラックのジャンルを変更する

1 トラック詳細・編集画面(→P80)で **ジャンル** **にタッチする**

2 変更したいジャンルにタッチする



トラック詳細・編集画面に戻ります。

トラック詳細情報画面でトラックを消去する

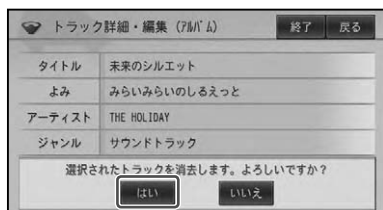
お好みグループ以外のグループからトラックを選び、詳細情報を表示して選んだトラックを消去します。

1 トラック詳細・編集画面(→P80)で**トラック消去**にタッチする

メモ

・お好みプレイリストからトラックを消去する場合は、「お好みプレイリストからトラックを消去する」(→P86)をご覧ください。

2 **はい**にタッチする



選んだトラックが消去されます。

メモ

・アルバムグループのトラックを消去すると、録音した曲そのものが消去されますので、ご注意ください。また、消去したトラックがお好みグループ内で登録されていた場合は、そのトラックも同時に消去されます。

お好みプレイリストのトラック再生順を変更する

お好みプレイリスト内のトラックの再生順を変更します。

メモ

・アルバムプレイリストやアーティスト、ジャンルのプレイリストは、再生順を変更することはできません。

1 編集したいお好みプレイリストのトラックを再生する(→P74)

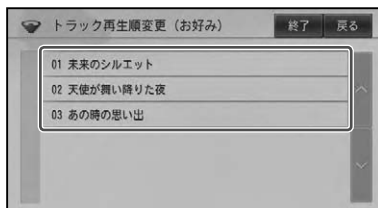
2 **詳細・編集**にタッチする

3 **トラック詳細・編集**にタッチする

4 **再生順変更**にタッチする



5 順番を変更したいトラックにタッチする



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

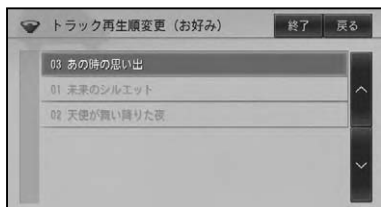
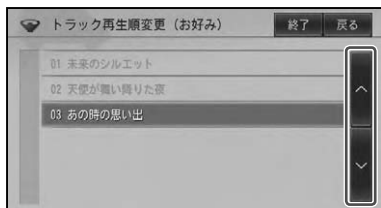
その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

6 ▲/▼にタッチして、移動先を決める



7 終了にタッチする



メモ

- ・戻るにタッチすると引き続き他の情報を編集することができます。

お好みプレイリストからトラックを消去する

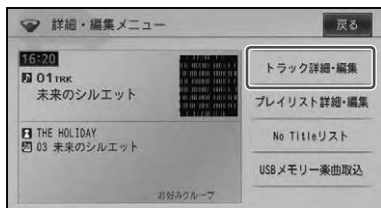
お好みプレイリストからトラックを消去することができます。

再生中のトラックを消去する場合

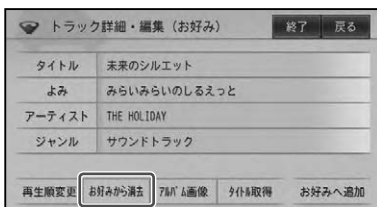
再生中のトラックを消去することができます。

1 消去したいトラックを再生し、詳細・編集画面を表示する (→ P79)

2 トラック詳細・編集にタッチする



3 お好みから消去にタッチする



4 はいにタッチする



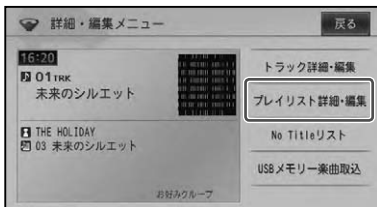
選んだトラックが消去されます。

再生中でないトラックを選んで消去する場合

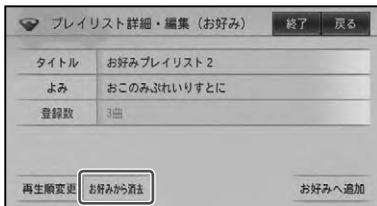
複数のトラックを一度に消去することができます。

1 お好みプレイリスト再生中に、詳細・編集にタッチする

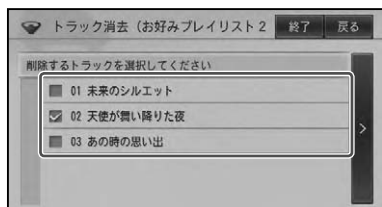
2 プレイリスト詳細・編集にタッチする



3 お好みから消去にタッチする



4 消去するトラックにタッチする

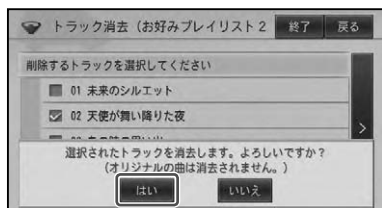


選んだトラックには✔チェックマークが付きます。引き続き選ぶことができます。

メモ

- > にタッチしてサブメニューを表示すると、**全選択**が表示されすべての曲を選択することができます。選択を解除するには、もう一度サブメニューを開いて**全解除**にタッチするが解除したい曲にタッチします。

5 終了 - はい にタッチする



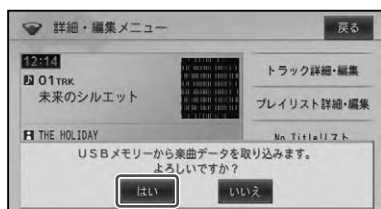
選んだトラックが消去されます。

USBメモリーから楽曲を取り込む

パソコンリンクソフト「ナビスタジオ (楽ナビ用) Ver.2.1」を使用し、パソコンからUSBメモリーへ転送した楽曲を、本機に取り込むことができます。取り込んだ楽曲は、アルバムグループのプレイリストとなります。

1 USBメモリーを接続する (→『スタートブック』)

2 詳細・編集画面 (→P79) で USBメモリー楽曲取込 - はい にタッチする



USBメモリー内の楽曲が、本機のハードディスクに取り込まれます。

メモ

- お使いのUSBメモリーによっては、本機がUSBメモリーを認識するまでに数分間かかる場合があります。その間、タッチ操作は行えません。
- パソコンリンクソフト「ナビスタジオ (楽ナビ用) Ver.2.1」を使ってパソコンからUSBメモリーへ転送できる楽曲データは、WMA/MP3 ファイルのみです。著作権保護のかかった楽曲データやWMA/MP3以外のフォーマットの楽曲データなどは転送できません。
- 取り込み中は、取り込み済み数と総曲数、進捗状況 (パーセント) とパーセンテージ (数値) が表示されます。
- アルバム1枚分 (約40分) の音楽をビットレート128kbpsで圧縮し、本機に取り込む場合は、約4分程度かかります。
- 取り込む楽曲データの数が多し場合は、取り込み時間が長くなる場合があります。
- **中止** にタッチすると、取り込みを中止します。すでに取り込まれたトラックがある場合は、プレイリストとトラックリストが作成されます。
- 取り込み中に他のAVソースに切り換えると、取り込みは中止されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

タイトル情報を取得する

ハードディスク内のGracenote® 音楽認識サービス (CDDDB) にタイトル情報が見つからなかったときは、インターネットからタイトル情報を取得することができます。

メモ

・通信でタイトル情報の取得を行うには、本機に携帯電話または通信モジュール (WSO22IN) が接続されており、インターネットに接続可能な状態である必要があります。→「ナビゲーションブック」-「設定操作」-「通信接続設定」

タイトル情報について

取得したタイトル情報は、CDやミュージックサーバーの再生画面などに表示されます。

取得できる情報

CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。

- ・アルバムタイトル
- ・アルバムタイトルのよみ
- ・アルバムのアーティスト
- ・アルバムのアーティストのよみ
- ・アルバムのジャンル
- ・アルバムの発売年
- ・トラックタイトル
- ・トラックタイトルのよみ
- ・トラックのアーティスト

メモ

- ・タイトル情報は、ハードディスクから探します。見つからないときは通信から探すこともできます。
- ・インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。

No Title 表示について

CDに「No Title」、ミュージックサーバーに録音された日付・時刻 (例: CD-09/10/15 21:23) と表示された場合は、次のことが考えられます。

- ・タイトル情報が見つからなかった
- ・タイトル情報が複数候補あった

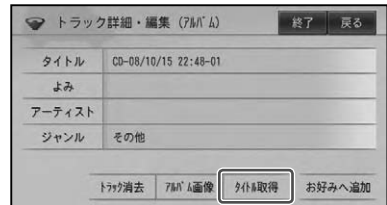
タイトル情報が複数候補あった場合は、タイトル情報の取得を行うと、複数のタイトルの中から選択することができます。

タイトル情報を取得する

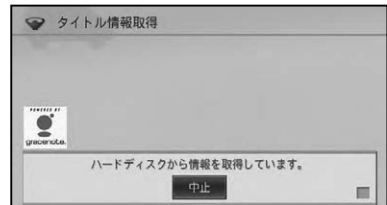
タイトル情報の取得は、本機のGracenote® 音楽認識サービス (CDDDB) から検索されます。取得したタイトル情報が見つからなかった場合は、通信でタイトル情報を取得することができます。

1 タイトルを取得したいアルバムグループのプレイリストまたはトラック詳細・編集画面 (→P80)を表示する

2 タイトル取得にタッチする



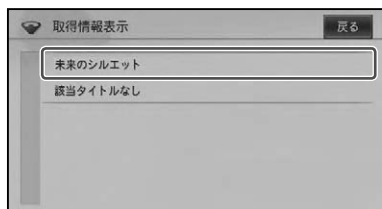
自動的に情報の検索が開始されます。



メモ

- ・タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。

3 取得したタイトルにタッチする



該当タイトルなし	トラック詳細・編集画面に戻ります。
通信で取得	通信でタイトル情報を取得します。
No Titleリストに登録	No Title リストに登録します。

メモ

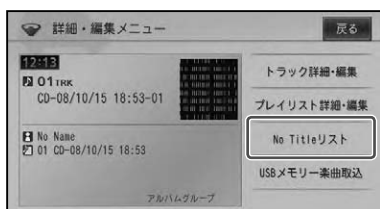
- **通信で取得** にタッチして通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバーの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。
- **No Titleリストに登録** にタッチしてNo Title リストに登録しておくこと、あとで通信により一括でタイトル情報の取得を行うことができるようになります。(→P90)

4 終了にタッチする

No Title リストのタイトル情報を取得する

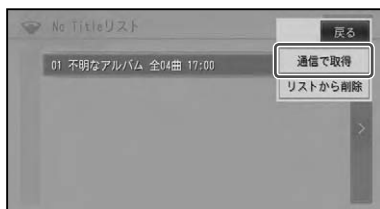
No Titleリストに登録されたプレイリストやトラックのタイトル情報を、通信で取得することができます。

1 詳細・編集画面(→P79)でNo Title リストにタッチする



No Titleリスト画面が表示されます。

2 タイトル情報を取得したいプレイリストやトラックを選んで、通信で取得にタッチする



自動的に情報の検索が開始されます。



つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

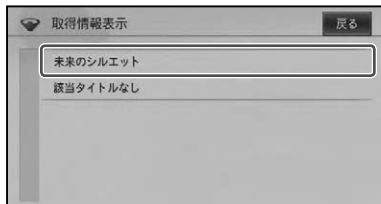
その他の機能

付録

 メモ

- タイトルが取得できた場合は、取得情報表示画面が表示されます。
- **▶** **通信で一括取得** にタッチすると、No Titleリストのすべてのプレイリストやトラックについて、タイトル情報を通信で取得することができます。

3 取得したタイトルにタッチする



4 終了にタッチする

 メモ

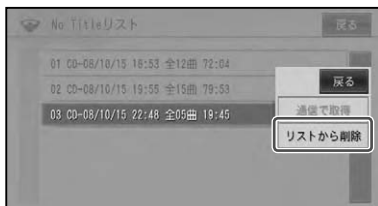
- 通信の状態および検索サーバーの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。

No Title リストの登録を解除する

No Titleリストの登録を解除することができます。

1 No Titleリスト画面(→P89)で登録を解除したいプレイリストやトラックにタッチする

2 リストから削除 にタッチする



▼
選んだプレイリストやトラックがNo Titleリストから削除されます。

 メモ

- ここでは、No Titleリストの登録を解除するのみで、曲そのものを削除することはできません。

その他の機器

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

iPodの操作のしかた	92
再生する	92
聴きたい曲を探す	93
見たい映像を探す	94
リピート再生	94
シャッフル再生	94
コントロールモードを切り換える	95
BT AUDIOの操作のしかた	96
BT AUDIO 機器の登録	96
BT AUDIO 機器を接続する	96
再生する	97
リピート再生	98
ランダム再生	98
BT AUDIO 機器の接続について	99
一時的に接続が切断された場合	99
エクスターナルユニットの操作のしかた ...	100
基本操作	100
外部機器の音声を聞く	101
外部機器の入力設定をする	101
外部機器の音声を聞く	101
ビデオなどを見る	102
映像入力の設定をする	102
ビデオを見る	102

iPod の操作のしかた

本機に接続した iPod を操作することができます。

メモ

- 本機に iPod を接続するには、別売の iPod 用接続ケーブル「CD-I021」が必要です。
- ビデオ機能に関しては、ビデオに対応した iPod が必要となります。
- ビデオ機能を正しく利用するために、iPod 接続後は製品と iPod の間で認証を行います。認証に失敗すると、ビデオ対応 iPod でもビデオ機能を利用できなくなります。（このとき、認証失敗を示すメッセージが表示されます。）また、ビデオ機能に対応していない iPod を接続した場合でも認証を行います。
- iPod 利用中に iPod が STOP 状態となることがあります。（映像再生中に iPod を一度外して再度着けた場合など）STOP 状態になっても iPod の機能を再び利用することは可能ですが、動作の一部に制限があります。
- 絞り込み操作中、リストに表示される内容と再生される曲は異なることがあります。
- 絞り込み操作中、動作が不安定となることがあります。
- ご使用前に、お持ちの iPod ソフトを最新バージョンにしてください。
- 対応 iPod および制限事項については、カロツェリアホームページ (<http://carrozzeria.jp>) をご覧ください。

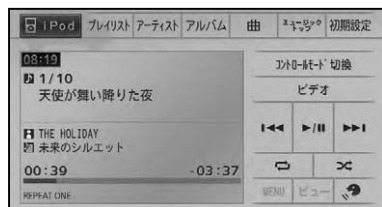
注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

再生する

1 AVソースを iPod にする (→P12)

前回再生していたトラックから再生されます。



プレイリスト、 アーティスト、 アルバム、曲、 ミュージックトップ、 ビデオトップ 初期設定

それぞれのカテゴリの絞り込みリストを表示します。

コントロールモード 切換

AV 初期設定画面を表示します。(→P104)
iPod の操作する方法を設定します。(→P95)

ビデオ、 ミュージック

映像データ、音楽データのそれぞれの操作タッチキーを表示します。
(→P93, 94)

MENU

絞り込みリストの1つ前のリストを表示するか、それぞれの通常再生画面を表示します。



トラックまたはチャプターのダウン / アップを行います。



早戻し / 早送りを行います。



再生中は一時停止します。一時停止中は再生を再開します。



リピート再生を行います。(→P94)



シャッフル再生を行います。(→P94)

メモ

- 映像データ再生中は、、 に約5秒以上タッチし続けると、早戻し / 早送りのままになります。
- 再生を中止するには、AV ソースを OFF にします。(→P12)

本体のボタンで操作する場合：

◀P.List/Trk▶ を 押す	トラックまたはチャプターの ダウン/アップ
◀P.List/Trk▶ を 長く押す	早戻し/早送り

リモコンで操作する場合：

◀▶ を押す	トラックまたはチャプター のダウン/アップ
◀▶ を長く押す	早戻し/早送り

メモ

- 映像データ再生中は、左右ボタンを約5秒以上操作し続けると、早戻し/早送りのままになります。

聴きたい曲を探す

メモ

- 操作タッチキーが映像の場合は、**ミュージック** にタッチして操作タッチキーを切り換えてから操作してください。

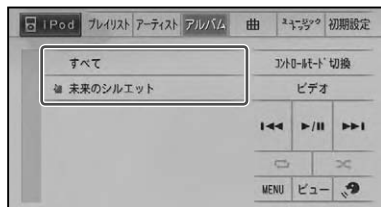
1 カテゴリ(アルバム など)にタッチする



メモ

- ミュージックトップ** にタッチすると、ポッドキャストや接続したiPodでお使いのカテゴリで絞り込むことができるようになります。

2 曲を絞り込む



メモ

- リストによっては、リスト項目に2秒以上タッチすると、選んだリスト項目の1曲目から再生します。

3 聴きたい曲にタッチする



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック
スーパーブック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

見たい映像を探す

メモ

- 操作タッチキーが音楽データの場合は、**ビデオ**にタッチして操作タッチキーを切り換えてから操作してください。

1 ビデオトップにタッチする



2 映像を絞り込む



メモ

- それぞれのカテゴリで絞り込むことができます。

3 見たい映像にタッチする



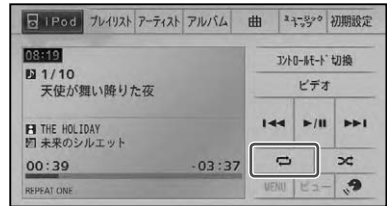
メモ

- 映像の表示方法をワイドスクリーンで行うことができます。→「iPodワイドスクリーン」(P113)

リピート再生

指定した範囲を繰り返し再生することができます。

1 [] にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT ONE ↔ REPEAT ALL

シャッフル再生

再生順を変えて再生することができます。

1 [] にタッチする



タッチすることにより、シャッフルの範囲が以下のように切り換わります。

OFF → SHUFFLE SONGS → SHUFFLE ALBUMS → OFFに戻る

メモ

- シャッフル設定を有効にしていると、ビデオ機能が正しく動作しないことがあります。

コントロールモードを切り換える

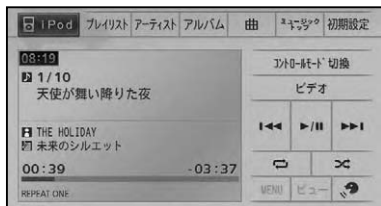
iPodの操作を本機から行うか、iPod本体で行うかを設定します。

1 コントロールモード切換にタッチする



タッチすることにより、以下のように切り換わります。

コントロールモード(ナビ)



コントロールモード(iPod)



メモ

- コントロールモードがiPodのときは、再生操作(再生/一時停止、トラックのアップ/ダウン、早送り/早戻し)と、コントロールモード切り換えが行えます。その他の操作は、iPod本体から行ってください。
- 接続されたiPodによっては、操作が制限される場合があります。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

BT AUDIOの操作のしかた

別売のBluetoothユニット「ND-BT10」を接続すると、Bluetooth AUDIO 機器（以降、BT AUDIO 機器）内の音楽データを本機で再生することができます。AV プロファイルの種類やバージョンによって、操作できる機能や表示される内容は異なります。

本機は、以下のAV プロファイルに対応しています。

A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)

音楽をワイヤレスで伝送するためのプロファイル。

AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

楽曲の選曲操作や情報表示するためのプロファイル。

接続プロファイル	音楽伝送	選曲操作	情報表示
A2DP	○	×	×
A2DP+AVRCP	○	△※1	△※1

○：対応 △：一部対応 ×：非対応

※1 BT AUDIO 機器によっては、一部機能の操作や情報表示ができない場合があります。

メモ

・上記表で「○」になっていても、ご使用のBT AUDIO 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。

BT AUDIO 機器の登録

BT AUDIO 機器をお使いになるには、あらかじめ本機にBT AUDIO 機器を登録する必要があります。詳しくは、『ナビゲーションブック』-「Bluetoothの接続設定を行う」をご覧ください。

BT AUDIO 機器を接続する

本機に登録済みのBT AUDIO 機器をAV プロファイルで接続します。「接続対象機器」に表示されている機器以外のBT AUDIO 機器の場合は、BT AUDIO 機器側より接続してください。「接続対象機器」に機器名が表示されている場合は、以下の手順で行うことができます。

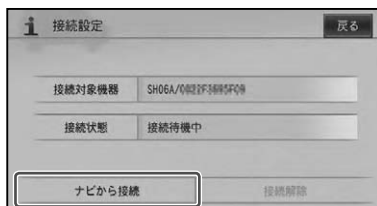
メモ

- ・BT AUDIO 機器が別のプロファイルで接続中は、ナビから接続できない場合があります。その場合は、BT AUDIO 機器の全てのプロファイルを切断してから接続してください。
- ・「接続対象機器」に表示されているBT AUDIO 機器の場合は、機器によっては自動接続されます。

1 接続設定にタッチする



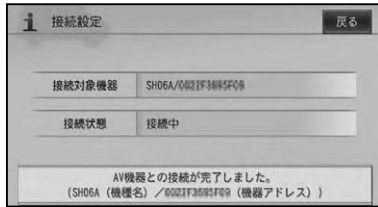
2 ナビから接続にタッチする



メモ

- ・お使いのBT AUDIO 機器によっては、機器側での操作が必要になります。詳しくは、お使いのBT AUDIO 機器の説明書をご覧ください。
- ・本機の出荷時のデバイス名（機器名称）は「RAKU NAVI」、パスキーは「1111」です。

BT AUDIO 機器との接続が完了します。



メモ

- 接続が完了すると、画面に接続できた機器のデバイス名/アドレス (AVメニュー表示中) および接続状態が表示されます。
- 接続中に **接続解除** にタッチすると、接続を解除することができます。再度接続する場合は、**ナビから接続** にタッチします。
- BT AUDIO 機器によっては、**ナビから接続** にタッチしても接続できない場合があります。その場合は、BT AUDIO 機器から接続してください。
- BT AUDIO 機器との接続に失敗した場合は、「BT AUDIO 機器から接続を開始してください」と表示されます。BT AUDIO 機器を操作し、AUDIO 接続してください。詳しくは BT AUDIO 機器の説明書をご覧ください。

再生する

1 ソースをBT AUDIOに切り換える(→P12)

2 BT AUDIO 機器を接続する(→P96)

3 再生を開始する

再生が開始され、音声が出力されます。



初期設定	AV 初期設定画面を表示します。(→P104)
接続設定	接続設定画面を表示します。(→P96)
▶	再生します。一時停止中は、再生を再開します。
⏸	再生を一時停止します。
⏮ ▶	トラックのダウン/アップを行います。
⏮ ⏭	早戻し/早送りを行います。(タッチ続ける)
▲ ▼	グループのアップ/ダウンを行います。
リピート	リピート再生を行います。(→P98)
ランダム	ランダム再生を行います。(→P98)

本体のボタンで操作する場合：

⏮ または ⏭ を押す	トラックのダウン/アップ
⏮ または ⏭ を長く押す	早戻し/早送り

リモコンで操作する場合：

▲ ▼ を押す	グループのアップ/ダウン
⏮ ▶ を押す	トラックのダウン/アップ
⏮ ▶ を長く押す	早戻し/早送り

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

メニュー操作

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

メモ

- 自動的に再生が始まらない場合は、▶ にタッチしてください。
 - お使いのBT AUDIO 機器によっては、▶ にタッチしても再生が開始されない場合があります。その場合は、BT AUDIO 機器側で再生を開始させてください。
 - BT AUDIO 機器によっては、早戻し/早送り中に音が出る場合と出ない場合があります。
 - A2DP接続のみの場合は ▶ や ⏮ などの操作タッチキーは選択できません。その場合は、BT AUDIO 機器側で操作してください。
 - BT AUDIO 使用中に、ハンズフリー機能や通信機能、電話帳転送機能を使用すると、一時的にBT AUDIO の機能は停止します。
 - A2DP+AVRCP接続の場合でも、機種によっては操作できない場合や本書に記載された説明とは異なる動作をする場合があります。
 - A2DP+AVRCPで接続した場合は、トラックタイトルやアーティスト名などの情報が表示されます。(BT AUDIO 機器によっては表示されない場合もあります)
- また、何らかの理由により再生が始まらない場合や接続が切断された場合は、一時的にこれらの情報が表示されなくなりますが、再生が始まると再表示されます。
- お使いになるBT AUDIO 機器によっては使用できない機能や制限事項があります。詳しくは、弊社ホームページ(<http://pioneer.jp/carrozzeria/>)をご覧ください。

リピート再生

指定した範囲内を繰り返し再生することができます。

1 リピートにタッチする

タッチすることにより、リピート再生の範囲が以下のように切り換わります。

REPEAT OFF → TRACK REPEAT → GROUP REPEAT → ALL REPEAT → REPEAT OFF に戻る

REPEAT OFF	リピート再生しません。
TRACK REPEAT	再生中のトラック(曲)を繰り返します。
GROUP REPEAT	再生中のグループを繰り返します。
ALL REPEAT	最後のトラックの再生が終了すると、先頭のトラックから繰り返します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「REPEAT OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBT AUDIOの画面には表示されません。
- リピート再生中にリピート再生の範囲を超える操作(TRACK REPEAT中の選曲操作など)を行うと、リピート再生範囲が変更される場合があります。

ランダム再生

選んだリピート再生の範囲で、曲順を変えて再生することができます。

1 ランダムにタッチする

タッチすることにより、ランダムの範囲が以下のように切り換わります。

RANDOM OFF → GROUP RANDOM → ALL RANDOM → RANDOM OFF に戻る

RANDOM OFF	ランダム再生しません。
GROUP RANDOM	再生中のグループ内をランダムに再生します。
ALL RANDOM	すべての曲をランダムに再生します。

メモ

- 接続した機器により、操作や再生範囲が異なる場合があります。
- 「RANDOM OFF」は通常の再生状態です。AVソースプレートやBT AUDIOの画面には表示されません。

BT AUDIO 機器の接続について

一時的に接続が切断された場合

本機との接続が成功したBT AUDIO機器は、以下のような理由により一時的にBluetooth接続が切断された場合、自動的に再接続を行います。

- AVソースを切り換えた場合
- ACC OFF/ONした場合
- データ通信を行った場合
- 電話帳転送を行った場合
- 電波発射をOFF/ONした場合

メモ

- 以下の場合、自動接続の対象外となります。BT AUDIO機器側から再接続してください。(→P96)
 - BT AUDIO機器側の操作でBluetooth接続を切断した場合
 - BT AUDIO再生中にBT AUDIO機器が本機から離れ、強制的にBluetooth接続が切断された場合
 - その他、何らかの理由により再接続が失敗した場合
- お使いになる携帯電話によっては、BT AUDIOを使用中はデータ通信を行えない場合があります。このような場合は、いったんBT AUDIOをOFF(→P12)にし、携帯電話の音楽再生ソフトを終了させてからデータ通信を行ってください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

エクスターナルユニットの操作のしかた

本機がAVソースとして対応していないIPバス機器は、エクスターナルユニットとして扱われます。

メモ

- エクスターナルユニットは、最大2台まで接続することができます。
- 本機にマルチCDプレーヤーを接続することはできません。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニット(マルチDVDプレーヤー「XDV-P70」など)を接続したときは、「映像入力設定」をEXTに設定する必要があります。→「ビデオなどを見る」(P102)

基本操作

1 AVソースをEXT1またはEXT2にする(→P12)

2 操作画面にタッチして操作する

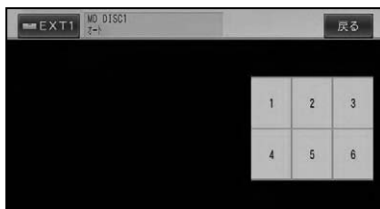


メモ

- 接続した製品によって、操作内容が異なります。詳しくは、接続した製品の取扱説明書をご覧ください。
- 本機に映像ソースのエクスターナルユニットを接続した場合は、しばらくすると映像画面に切り換わります。操作画面を再表示させたい場合は画面にタッチしてください。

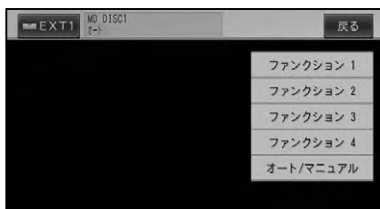
1～6キーの操作

基本操作画面で **1-6** にタッチすると、1～6キーの操作ができます。



ファンクションキーの操作

基本操作画面で **ファンクション** にタッチすると、ファンクションキーの操作が行えます。



外部機器の音声を聞く

本機にポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

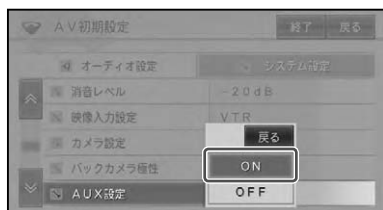
メモ

- 本機に外部機器の音声を入力するには、別売のRCA・バスインターコネクター「CD-RB10」が必要です。

外部機器の入力設定をする

1 AV初期設定画面(→P104)で**システム設定**(タブ)–**AUX設定**にタッチする

2 **ON** にタッチする



ON	AUX に接続した機器の音声を聞くとき
OFF	何も接続されていないとき

▼
外部機器がAUXソースとして設定され、ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声を聞くことができます。

外部機器の音声を聞く

1 AVソースをAUXにする(→P12)
外部機器の音声が出力されます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ビデオなどを見る

本機にビデオなどの映像を表示したい場合は、次のような操作をしてください。

映像入力の設定をする

- 1 AV初期設定画面(→P104)で**システム設定**(タブ)→**映像入力設定**にタッチする
- 2 機器を接続した端子に応じて、以下のように設定する



VTR	接続されたビデオなどの映像を表示するとき
EXT	接続したエクスターナルユニットの映像を表示するとき (→P100)
OFF	何も接続されていないとき

ビデオを見る

AVソースをVTRに切り換えて、ビデオなどの映像を見ます。

! 注意

- 停車中でパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。安全のため走行中は、モニターに映像が表示されません。

- 1 AVソースをVTRにする(→P12)

ビデオなどの映像が表示されます。



メモ

- 接続する機器により、別売の各種変換コードが必要になる場合があります。
- ビデオ機器からの入力信号が大きい場合、音が歪む場合があります。この場合、接続した機器側で音量を調整してください。
- 接続した機器により、映像が正常に表示されない場合があります。

AV 初期設定

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付録

AV 初期設定のしかた.....	104
AV 初期設定画面を表示する.....	104
オーディオ設定をする.....	104
フェーダー/バランス設定.....	104
ラウドネス設定.....	105
イコライザー設定.....	105
ハイパスフィルター設定.....	107
サブウーファー設定.....	107
ソースレベルアジャスター設定.....	108
音場設定 (VSC).....	109
バスブースター設定.....	110
システム設定をする.....	110
ワイドモード設定.....	110
消音タイミング.....	110
消音レベル.....	111
映像入力設定.....	111
カメラ設定.....	111
バックカメラ極性.....	111
AUX 設定.....	111
映像画面時計表示設定.....	111
5.1ch DSP ユニット設定.....	112
ガイド/ハンズフリー SP 設定.....	112
録音設定.....	112
DVD ビデオ機能設定.....	112
DivX VOD コード.....	113
デジタル TV 機能設定.....	113
iPod ワイドスクリーン.....	113

AV 初期設定のしかた

お好みに合わせてオーディオの音などを調節(→「オーディオ設定」(P104))したり、本機のいろいろな機能を使うための基本的な設定(→「システム設定」(P110))をすることができます。

AV初期設定画面を表示する

1 AVソース画面(→P13)で 初期設定にタッチする



AV初期設定画面が表示されます。

2 各項目を選び、設定を行う



メモ

- 走行中は操作できない設定項目があります。
- AV初期設定画面を操作中に、音声案内、ハンズフリー通話などがあった場合は、オーディオ設定の各種設定はできません。ただし、消音タイミング(→P110)がOFFに設定されている場合は、設定を行うことができます。

オーディオ設定をする

本機の音に関する設定を行います。

メモ

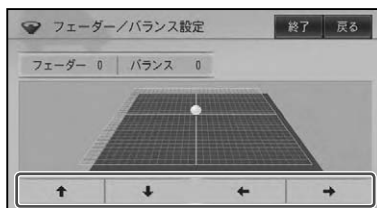
- AVソースOFF時は、設定できません。

フェーダー/バランス設定

前後左右の音量バランスを調節することができます。

1 AV初期設定画面でフェーダー バランス設定にタッチする

2 ↑、↓、←、→にタッチして前 後左右のバランスを調節する



カーソルの位置で前後左右の音のバランスを確認できます。

ラウドネス設定

小さな音量で聞いているときに、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。
工場出荷時は「OFF」です。

1 AV 初期設定画面で **ラウドネス設定** にタッチする

2 **ON** にタッチする



ラウドネスを働かせない場合は、**OFF** を選びます。

3 ◀ または ▶ で **LOW/MID/HIGH** から設定する



イコライザー設定

あらかじめ用意された5つの設定（ファクトリーカーブ）とお好みで調節した設定（CUSTOM）からイコライザーカーブを選ぶことができます。
工場出荷時は「FLAT」です。

メモ

- 設定した調節値は、ミュージックサーバーへの録音には反映されません。

1 AV 初期設定画面（→P104）で **イコライザー設定** にタッチする

2 お好みの設定にタッチする



▼
タッチすることによりイコライザーカーブが切り換わります。

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付録

+ -	ファクトリーカーブのニュアンスを調整します。(→P106)	
詳細設定	選んだファクトリーカーブを補正します。	
ファクトリーカーブ	SUPER BASS	低音が厚みを持ち、迫力のある重低音が響きます。
	POWERFUL	低音と高音が厚みを持ち、アップテンポな曲がメリハリよく聞こえます。
	NATURAL	自然なバランスで、聞き疲れしない心地よい音を再生します。
	VOCAL	中高音域が厚みを持ち、伸びやかなボーカルを際立たせます。
	FLAT	音の補正をしません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、イコライザーの効果を確認するときにご使用ください。
CUSTOM1 、 CUSTOM2	CUSTOM メモリーに登録した調整値を呼び出します。	

メモ

- **FLAT** **CUSTOM1** **CUSTOM2** を選択しているときは、ニュアンスレベルの調整は行えません。
- **CUSTOM1** は AV ソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - FM, AM
 - CD, ROM, DVD-V, DivX
 - EXT1/EXT2
 - VTR, AUX
- 交通情報を受信しているときは、調節できません。

ニュアンス（イコライザー効果）を調整する

選んだファクトリーカーブの全体的なレベルを調整し、イコライザー効果を調整します。プラスに調整するほど、イコライザー効果が増します。

- 1** **ファクトリーカーブ** を選ぶ
- 2** **+** または **-** にタッチして、**レベルを設定する**



SUPERBASS, POWERFUL, VOCAL :
 - 12dB ~ +12dB の間で 2 dB ごとに調整できます。
 NATURAL :
 - 8dB ~ +12dB の間で 2 dB ごとに調整できます。

イコライザーを補正する

選んだファクトリーカーブを、各周波数でさらに細かくレベルを補正することができます。補正した値は、CUSTOM 1 に登録されます。

メモ

- **CUSTOM2** を選んで行った補正値は、CUSTOM 2 に登録されます。

- 1** **イコライザー設定画面** (→P105) で調節するカーブに**タッチする**
- 2** **詳細設定** に**タッチする**

- 3 補正する周波数をタッチして選び、**▲**または**▼**にタッチしてレベルを補正する



50Hz、125Hz、315Hz、800Hz、2kHz、5kHz、12.5kHzから周波数を選べます。

-12dB ~ +12dBの間で2dBごとに調整できます。

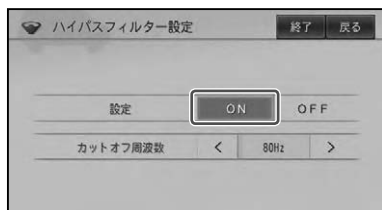
ハイパスフィルター設定

選んだ周波数より低い周波数の音がサブウーファー以外の各スピーカーから出力されないように設定できます。

工場出荷時は「OFF」です。

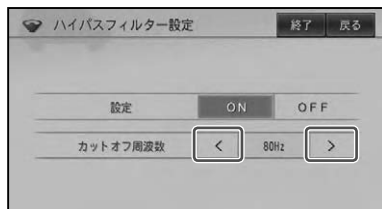
- 1 AV初期設定画面(→P104)で**ハイパスフィルター設定**にタッチする

- 2 **ON** にタッチする



ハイパスフィルターを設定しない場合は、**OFF**にタッチします。

- 3 **◀**または**▶**にタッチして、カットする周波数を設定する



50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hzから周波数を選べます。

サブウーファー設定

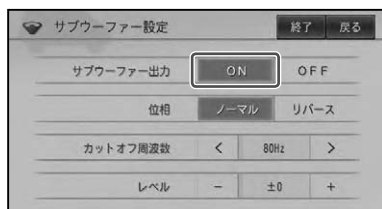
サブウーファーから出力される音の設定を行うことができます。

工場出荷時は以下のとおりです。

出力	「ON」
位相	「ノーマル」
カットオフ周波数	「80Hz」
レベル	「±0」

- 1 AV初期設定画面(→P104)で**サブウーファー設定**にタッチする

- 2 **ON** にタッチする



サブウーファー出力を設定しない場合は、**OFF**にタッチします。

つづ→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

3 ノーマル または リバース にタッチして、位相を設定する

ノーマル	フロント/リアスピーカーと同じ位相で出力するとき
リバース	フロント/リアスピーカーと逆の位相で出力するとき

メモ

- サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。サブウーファーを固定したあとに、**ノーマル** または **リバース** どちらかを選んで、低音の音量が大きく感じられる方に設定してください。

4 ◀ または ▶ にタッチして、カットオフ周波数を設定する

50Hz、63Hz、80Hz、100Hz、125Hz から周波数を選べます。

5 + または - にタッチして、レベルを設定する

-24dB ~ +6dB の間で 1dB ごとに調整できます。

メモ

- カットオフ周波数やレベルは、フロント/リアスピーカーとのバランスやお好みに応じて設定してください。

ソースレベルアジャスター設定

AVソースを切り換えたときに音量の違いが出ないように、FMの音量を基準にして各AVソースの音量の差をそろえることができます。

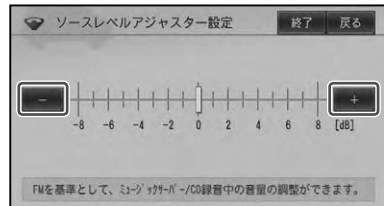
工場出荷時は「0dB」です。

メモ

- FMの音量を基準に他のAVソースとの音量を調節するため、FMを聞いているときは、ソースレベルアジャスターを設定することはできません。
- AVソースごとに登録されますが、同じ設定になるものは以下のとおりです。
 - CD、ROM (MP3/WMA/AAC)、DivX
 - AM、交通情報
 - VTR、AUX
 - EXT1、EXT2

1 AV 初期設定画面 (→ P104) で ソースレベルアジャスター設定 にタッチする

2 + または - にタッチする



-8dB ~ +8dB の範囲で 2dB ごとに調整できます。

音場設定 (VSC)

お好みの音場をリアルに再現することができます。

工場出荷時は「OFF」です。

1 AV 初期設定画面 (→ P104) で音場設定 (VSC) にタッチする

2 音場を選ぶ



OFF	音場効果を設定しません。
MUSIC STUDIO	演奏者を前にして聴くように、音が前方から聞こえるような音場を設定します。音楽ソフトを楽しむときに適しています。
DYNAMIC THEATER	迫力のある重低音と効果音を強調します。映画などを楽しむときに適しています。
ACTOR'S STAGE	ドラマや演劇など、台詞が聞き取りやすいように中音域を強調します。
RELAX LIVING	リビングでくつろぐような感覚を再現します。BGMなどを流すのに適しています。

メモ

- 中音域を強調するRELAX LIVINGは、最大音量付近では効果を得られません。

ポジションを設定する

音場の再現の中心となるポジションを設定することができます。

メモ

- 音場設定をOFFに設定すると、リスニングポジションの効果も無効になります。

1 ポジションにタッチする



2 ポジションを選ぶ



LEFT、**CENTER**、**RIGHT** から設定できます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

スーパーバック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

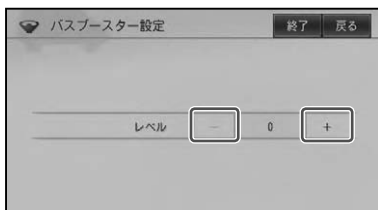
付録

バスブースター設定

サブウーファーから出力される低音域の増強効果を設定します。
工場出荷時は「0」です。

1 AV 初期設定画面(→P104)で **バスブースター設定** にタッチする

2 **+** または **-** にタッチして、レベルを設定する



0dB ~ +12dB の間で 2dB ごとに調整できます。

メモ

- サブウーファー設定 (→P107) が「ON」の場合は、サブウーファー設定で設定したカットオフ周波数以下の音域が調整されます。
- サブウーファー設定 (→P107) が「OFF」の場合は、100Hz以下の音域が調整されます。

システム設定をする

本機の動作環境の設定を行います。

ワイドモード設定

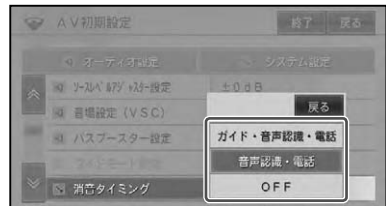
映像系ソースの画面表示のモードを設定します。
詳しくは、「ワイド画面の拡大方法を切り換える」(→P117)をご覧ください。
工場出荷時は「FULL」です。

消音タイミング

音声案内、ハンズフリー通話の着信、音声操作などの場合に、一時的にオーディオの音量を絞ったり、消したりして音声を聞き取りやすくすることができます。
工場出荷時は「音声認識・電話」です。

1 AV 初期設定画面(→P104)で **システム設定** (タブ) - **消音タイミング** にタッチする

2 消音タイミングを設定する



ガイド・音声認識・電話

音声案内やハンズフリー通話の着信、音声操作時にオーディオの音量を下げます。

音声認識・電話

ハンズフリー通話の着信、音声認識時にオーディオの音量を下げます。

OFF

オーディオの音量を下げません。

消音レベル

消音タイミング時に音量を下げるレベルを設定します。

工場出荷時は「-20dB」です。

1 AV 初期設定画面(→P104)でシステム設定(タブ)→消音レベルにタッチする

2 消音レベルを設定する



-10dB	音量が 1/3 になります。
-20dB	音量が 1/10 になります。
MUTE	音量が 0 になります。

映像入力設定

VTR (ビデオなど) などを本機に組み合わせた場合に、ビデオなどの映像を表示するかしないかを設定します。詳しくは、「ビデオなどを見る」(→P102)をご覧ください。

カメラ設定

バックカメラやバックカメラ+フロントカメラを本機に接続した場合に、映像を表示するカメラを設定します。詳しくは、「ナビゲーションブック」-「その他の操作」-「カメラを使う」をご覧ください。

バックカメラ極性

バックカメラを組み合わせた場合に車両のバック信号に合わせた極性を設定します。詳しくは、「ナビゲーションブック」-「その他の操作」-「カメラを使う」をご覧ください。

AUX 設定

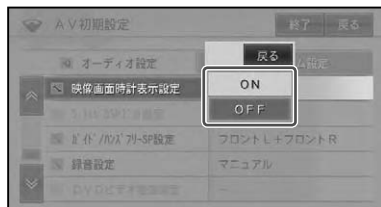
ポータブルプレーヤーなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。詳しくは、「外部機器の音声を聞く」(→P101)をご覧ください。

映像画面時計表示設定

DVD などの映像画面に時計を表示するかしないかを設定します。工場出荷時は「OFF」です。

1 AV 初期設定画面(→P104)でシステム設定(タブ)→映像画面時計表示設定にタッチする

2 ON または OFF にタッチする



映像画面に時計を表示しない場合は、**OFF** を選びます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ナビゲーション

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付録

5.1ch DSP ユニット設定

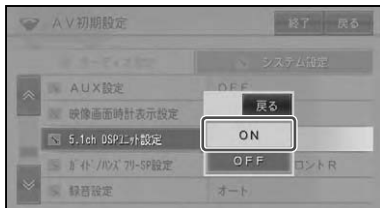
別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」および「AXM-P9」を組み合わせた場合「ON」に設定します。

メモ

- 光デジタル端子変換コネクタ「CD-DD25」が接続されていないと、設定ができません。
- ソースがOFFになっていないと、設定ができません。
- 5.1ch DSPユニットの設定を「ON」にすると、本機のスピーカーから音声は出力されません。

1 AV初期設定画面(→P104)でシステム設定(タブ)で5.1ch DSPユニット設定にタッチする

2 ON にタッチする



確認メッセージが表示されます。

3 はい にタッチする

5.1chのDSPユニットが設定され、操作およびスピーカー出力が「DEQ-P9」「AXM-P9」側で行えるようになります。

ガイド/ハンズフリー SP 設定

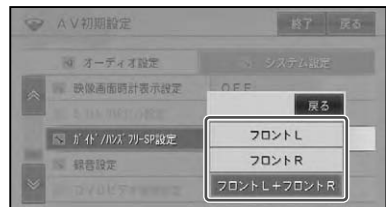
ナビゲーションの音声案内やハンズフリー通話の受話音、音声操作音などを、どのスピーカーから出力するかを設定します。工場出荷時は「フロントL+フロントR」です。

メモ

- ガイド/ハンズフリーSP設定は、別売の5.1ch対応・DSPユニット「DEQ-P9」と組み合わせている場合は設定できません

1 AV初期設定画面(→P104)でシステム設定(タブ)でガイド/ハンズフリーSP設定にタッチする

2 スピーカーにタッチする



フロントL	フロント左側から出力します。
フロントR	フロント右側から出力します。
フロントL+ フロントR	フロント左右から出力します。

録音設定

ミュージックサーバーへの録音方法を設定します。詳しくは、「ミュージックサーバーに録音する」(→P70)をご覧ください。

DVD ビデオ機能設定

DVDビデオの再生条件を設定します。詳しくは、「DVDビデオ/DVD-VRの機能設定」(→P57)をご覧ください。

DivX VOD コード

DivX VODとは、「DivX Video On Demand (ビデオオンデマンド)」の略です。DivX VOD ファイルを再生する場合、そのDivX VOD ファイルの配信先に対して、本機の登録コードが必要な場合があります。そのような場合に、本機の登録コードを確認できます。

メモ

- DivX VODファイルは、DRMコピープロテクションがかかっています。DivX VOD ファイルは、登録されたプレーヤーでのみ再生ができます。
- 本機の登録コードが承認されていないDivX VOD ファイルを再生すると、警告メッセージが表示され、再生できません。
- DivX VOD ファイルには、視聴回数が設定されているものがあります。そのようなDivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴可能回数が表示されます。残りの視聴可能回数が0になったファイルを本機に挿入すると警告メッセージが表示され、再生できません。
- 視聴回数の設定されていないDivX VOD ファイルは、何度でも再生できます。

1 AVソースをDVD/CD/ROM (WMA/MP3/AAC) /DivXにする(→P12)

2 AV初期設定画面(→P104)で**システム設定(タブ)**— **DivX VODコード**にタッチする

レジストレーションコードが表示されます。



デジタル TV 機能設定

地上デジタルテレビジョン放送を受信する際の機能を設定します。詳しくは、「地上デジタルテレビを見る」(→P20)をご覧ください。

iPod ワイドスクリーン

iPodのビデオデータ再生時に、ワイドスクリーンで表示するかどうかを設定します。

メモ

- iPodで映像を再生している場合のみ設定できます。一部の機種では、設定をしても動作しないものがあります。

1 AVソースをiPodにする(→P12)

2 AV初期設定画面(→P104)で**システム設定(タブ)**— **iPod ワイドスクリーン**にタッチする

3 **ON** または **OFF** にタッチする



ワイドスクリーンで表示しない場合は **OFF** を選びます。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

その他の機能

画面を設定する	116
画質を調整する	116
ワイド画面の拡大方法を切り換える	117
ワイドモードの種類	117
リアモニターを組み合わせる	118
リアモニターに表示される映像について	118
リアモニターの設置場所について	118
タッチパネルのタッチ位置を調整する	119

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

画面を設定する

画質を調整する

周囲の明るさや見る角度、映像に合わせて「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」、「色の濃さ」、「色あい」を調整することができます。

メモ

- 車のライトに連動して昼と夜の設定を自動的に切り換えます。
- 「黒の濃さ」、「コントラスト」、「明るさ」の設定は、昼と夜で別々に設定できます。
- 設定内容は、画面の種類ごとに別々に設定できます。
- 「色温度」は、LEDバックライトの経年劣化などの理由で、本機のモニターに表示している映像と実際の映像の色味に誤差が生じた場合などに調整します。
- バックカメラ**と**フロントカメラ**は、カメラ機能が動作していない場合に表示されます。
- 走行中は操作できません。

1 調整したい映像の表示画面で、**AV**を2秒以上押す

2 左右のタッチキーにタッチして調整する



バックカメラ	バックカメラ接続時にバックカメラ映像の画質調整を行います。
フロントカメラ	フロントカメラ接続時にフロントカメラ映像の画質調整を行います。
ソース	バックカメラ または フロントカメラ 選択時に表示され、タッチするとカメラの画質調整を解除して、元の画面に戻ります。

メモ

- カメラ映像を直接表示している場合(→『ナビゲーションブック』-「その他の操作」-「カメラを使う」)は、**ソース**は表示されません。

黒の濃さ

<input type="checkbox"/> (白)	薄くなる
<input checked="" type="checkbox"/> (黒)	濃くなる

コントラスト (明暗)

<input checked="" type="checkbox"/> 低	白黒の差が小さくなる
<input type="checkbox"/> 高	白黒の差が大きくなる

明るさ

<input checked="" type="checkbox"/> 暗	暗くなる
<input type="checkbox"/> 明	明るくなる

色温度

<input checked="" type="checkbox"/> (赤)	暖色系が強くなります。
<input type="checkbox"/> (青)	寒色系が強くなります。

色の濃さ

<input checked="" type="checkbox"/> 淡	薄くなる
<input type="checkbox"/> 濃	濃くなる

色あい

<input checked="" type="checkbox"/> (赤)	赤が強くなる
<input type="checkbox"/> (緑)	緑が強くなる

メモ

- 画面の種類によって、調整できる項目は異なります。

3 **終了**にタッチする

ワイド画面の拡大方法を切り換える

映像系ソース（DVD、地上デジタルTVなど）の映像は、通常の映像を、ワイド映像に拡大する方法を選択することができます。

メモ

- 通常映像は縦横比4：3、ワイド映像は縦横比16：9です。
- 設定内容は、映像の種類ごとに別々に設定・登録できます。
- ナビゲーションや音声系ソース（CD、WMA/MP3/AAC、ミュージックサーバーなど）、バックカメラおよびフロントカメラは、ワイドモードの切り換えはできません。

1 AVソースを切り換える (→P12)

2 AV初期設定画面(→P104)で、**ワイドモード設定**にタッチする

3 お好みの表示方法を選んでタッチする



それぞれの表示の説明は、「ワイドモードの種類」(→P117)を参照してください。

メモ

- 通常のテレビ放送の番組でズーム、ノーマル以外の、映像の縦横比が異なるモードを選ぶと、本来の映像と見えかたに差が出ます。
- シネマ、ズームで映像を見るときは、画質が粗くなります。

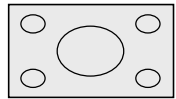
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

4 終了にタッチする

ワイドモードの種類

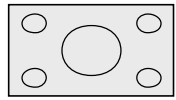
FULL (フル)

4：3の映像の左右だけを拡大します。映像が欠けることなくワイド画面が表示されます。



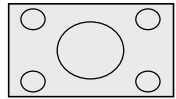
JUST (ジャスト)

画面の両端に近づくほど、横に伸びる比率が高くなります。画面の中央付近は通常の映像とほとんど同じ大きさで表示されるため、ワイド画面を違和感なく楽しめます。



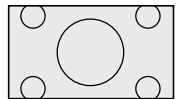
CINEMA (シネマ)

フルとズームの中間の比率で、上下を拡大します。字幕が映像の外側の黒い部分に表示されるものに適しています。



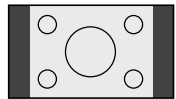
ZOOM (ズーム)

4：3の映像を上下、左右とも同じ比率で拡大します。映画など横長の映像のうち、字幕が映像の上にかぶって表示されるものに適しています。



NORMAL (ノーマル)

4：3の映像をそのまま表示します。テレビの通常の映像と同じです。



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

リアモニターを組み合わせる

本機のリアモニター出力端子に別売のリアモニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

リアモニターに表示される映像について

- リアモニターには、地上デジタルTV、DVD-V、DVD-VR、DivX、iPodビデオ、VTR、EXT1、EXT2の映像が表示されます。ナビゲーション、フロントカメラ、バックカメラ、AVソース画面は表示されません。
- リアモニターは、走行中/停車中に関係なく映像が表示されます。

！ 注意

- リアモニターは、**運転者が走行中に映像を見ることができない場所に設置してください。**

メモ

- リアモニターに表示される映像は、本機のモニターに表示される映像と比べて不鮮明になります。また、その程度は接続されるモニターによっても異なります。

リアモニターの設置場所について

リアモニター出力は、パーキングブレーキのON/OFFに関係なく映像が出力されます。リアモニター出力に接続したリアモニターは、運転者が走行中映像を見ることができる位置には、設置しないでください。

タッチパネルのタッチ位置を調整する

画面のタッチキーと実際に反応するタッチ位置にずれを感じたときなどに、調整することができます。(タッチパネルキャリブレーション)

調整には画面四隅で行う4点調整と、画面全体で詳細に行う16点調整があります。

！ 注意

- 必ず綿棒などの先のとがっていないものを使用して画面に触れてください。

メモ

- タッチパネル調整を途中で終了する場合は、**(AV)**を長く押すか、**(Navi)**を押してください。**(Navi)**を押した場合は、ナビゲーションの画面に戻ります。

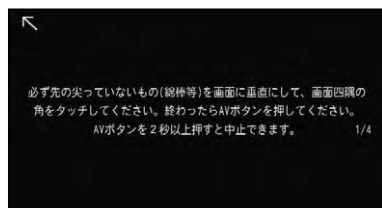
1 **(AV)**を2秒以上押す

画質調整画面(→P116)が表示されます。

2 **(AV)**を2秒以上押す

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 画面の四隅にタッチする



4 **(AV)**を押す

調整結果が保存されます。

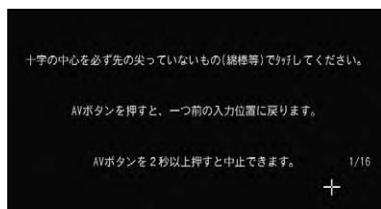
メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。

5 16点調整を行う場合は、もう一度**(AV)**を押す

16点調整に進みます。

6 画面に表示される+マークの中心にタッチする



すべてタッチすると調整結果が保存されます。

メモ

- 保存中はエンジンを切らないでください。
- 1つ前の調整に戻るには、**(AV)**を押してください。

7 **(AV)**を2秒以上押す

調整を終了し、元の画面に戻ります。

メモ

- タッチパネル調整が正しく実施できない場合は、カスタマーサポートセンターにご相談ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マイナー機能

その他の機能

AV初期設定

その他の機能

付録

付録

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

再生できるディスクの種類	122
DVD に表示されているマークの意味	123
ディスクの操作について	123
ディスクの構成について	124
DVD ビデオ	124
映画など	124
カラオケディスク	124
CD	124
WMA/MP3/AAC/DivXファイルについて ...	125
フォルダーと WMA/MP3 および AAC ファイルについて	125
WMA とは?	126
再生できる WMA ディスクについて	126
MP3 とは?	126
再生できる MP3 ディスクについて	126
AAC とは?	127
再生できる AAC ディスクについて	127
DivX とは?	127
故障かな?と思ったら	128
共通項目	128
FM/AM	128
DVD	129
CD、ROM (WMA/MP3/AAC)	130
ミュージックサーバー	131
地上デジタルテレビ	131
エラーメッセージと対処方法	133
共通項目	133
DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX	133
ミュージックサーバー	133
iPod	134
地上デジタルテレビ	134
Gracenote [®] について	136
索引	137
メニュー索引	137
用語索引	138
五十音順	138
数字・アルファベット順	140

再生できるディスクの種類

下記マークは、ディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。

本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

DVDビデオ



- DVD オーディオディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- DVD ビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。
- DVD-R/RW ディスクは、ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録されファイナライズされたもの、およびWMA/MP3/AAC ファイルが収録されたものに限り、再生することができます。
- ビデオフォーマット（ビデオモード/VRモード）で記録したDVD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機では再生できない場合があります。
- CD-EXTRA は、音楽 CD として再生することができます。
- コピーガード機能付き CD（Copy Control CD など）は正式な CD 規格に準拠していないため、再生できない場合があります。
- 音楽用 CD レコーダーで録音したもの以外の CD-R/RW ディスクは、正常に再生できない場合があります。
- CD-RW ディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常の CD や CD-R ディスクより時間がかかる場合があります。
- ファイナライズしていない CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクは、再生できない場合や再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。

CD



- CD-R/RW および DVD-R/RW（VR を含む）ディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音された CD-R/RW ディスクは再生できません。
- 音楽用 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R/RW ディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、再生できなくなる場合があります。
- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 以下のロゴは、本機がビデオレコーディングフォーマット（VRモード）で記録された DVD-R/RW ディスクの再生に対応していることを示しています。

RW
COMPATIBLE

ハイビジョン画質 (AVCHD / AVCREC 規格) で記録されたディスクについて






- 本機は、AVCHD / AVCREC に非対応のため再生できません。
- ディスクの取り出しができなくなる場合がありますので、AVCHD / AVCREC 規格で記録されたディスクは入れないでください。

「DualDisc」の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷が付く場合があります。傷が付いた面は再生すると不具合が起こる場合があります。
- ディスクを取り出せないといった不具合が起こる可能性がありますので「DualDisc」はご使用にならないでください。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

DVD に表示されているマークの意味

DVD ディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声の数
	字幕の数
	アングルの数
	画面サイズ (アスペクト比: 横と縦の比率) の種類
	再生可能な地域番号 (リージョン番号) 本機のリージョン番号は、「2」です。リージョン番号が「2」や「ALL」など「2」を含んでいるディスクを再生することができます。

ディスクの操作について

DVD では、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル / チャプターの構成上リピートなど一部の操作ができないことがあります。

このような場合、本機では画面に「禁止マーク」が表示されます。

ディスクによっては、表示されないこともあります。

禁止マーク



はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マルチメディア

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ディスクの構成について

DVD ビデオ

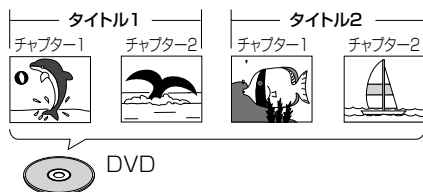
DVDビデオでは内容をタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。

映画など

1つの作品が1つのタイトルとなっており、場面ごとにチャプターで分けられています。

カラオケディスク

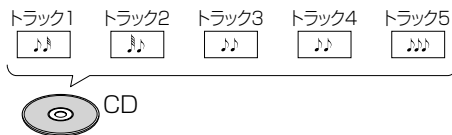
1曲が1タイトルとなっています。



CD

CDは、ディスクをトラックという単位で分けています。

一般的には、1曲が1つのトラックに対応しています。さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります。



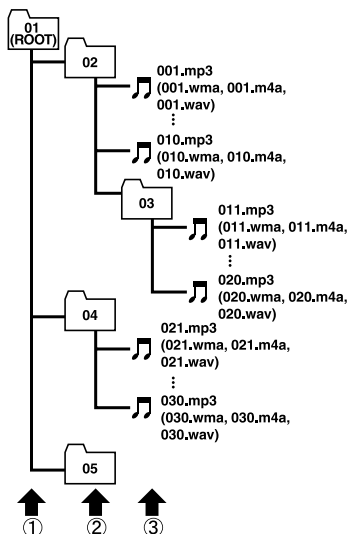
メモ

- 上記のような構成（区切りのしかた）になっていないディスクもありますので、サーチ機能を使用する際は、構成の違いにご注意ください。

WMA/MP3/AAC/DivX ファイルについて

フォルダーとWMA/MP3 およびAACファイルについて

- WMA/MP3/AAC ファイルを収録したディスクのイメージは下図のようになります。



1階層 2階層 3階層

- 本機は WMA/MP3/AAC ファイルが記録された DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW/CD-ROM (CD-ROM モードはモード1、モード2、FORM1、FORM2に対応)の再生に対応しています。ディスクは、ISO9660 のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet、Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- 本機はマルチセッション方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- パッケージには対応していません。
- m3u のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、および MP3 PRO フォーマットには対応していません。

- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.wma、.mp3、.m4a) を含め、全角で16文字、半角で32文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で16文字、半角で32文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から16文字、半角では先頭から32文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

メモ

- フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- DVD-R、DVD-RW、CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CD ディスクに WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMA/MP3/AAC ファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- WMA/MP3/AAC ファイルを含まないフォルダーは認識しません (フォルダー番号の表示をせず、スキップします)。
- 多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ディスクに含まれるフォルダーの合計が255個まで再生可能です。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マルチメディア

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

WMA とは？



WMAとは、「Windows Media™ Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮方式です。

WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

メモ

- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMA ファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

再生できる WMA ディスクについて

メモ

- WMA ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wma)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.wma)が付いているファイルを WMA ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMA ファイル以外には拡張子(.wma)を付けしないでください。
- 本機では、Windows Media Player Ver7/8/9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能な WMA ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
- 対応ビットレートは 5kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。
- 下記形式には対応していません。
 - ・ Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
 - ・ Windows Media Audio 9 Lossless (可逆圧縮)
 - ・ Windows Media Audio 9 Voice

MP3 とは？

MP3とは、「MPEG Audio Layer 3」の略で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる MP3 ディスクについて

メモ

- MP3 ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.mp3)を付けてください。
- 本機は、拡張子(.mp3)が付いているファイルを MP3 ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3 ファイル以外には拡張子(.mp3)を付けしないでください。
- ID3 Tag の Ver1.0 および Ver1.1、Ver2.2、Ver2.3 の album(ディスクタイトルとして表示)、title(トラックタイトルとして表示)、artist(アーティストとして表示)、genre(ジャンルとして表示)、year(発売年として表示)の表示に対応しています。
- 再生可能な MP3 ファイルの対応サンプリング周波数は、8kHz ~ 48kHz です。エンファシスに対応しています。
- 対応ビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。VBR に対応しています。

AAC とは？

AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG2、MPEG4 で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

再生できる AAC ディスクについて

メモ

- AAC ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.m4a) を付けてください。
- 本機では、Ver. 4.6 以前の iTunes を使用してエンコードされた AAC ファイルの再生に対応しています。
- 本機は、iTunes で作成された拡張子 (.m4a) が付いているファイルを AAC ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、AAC ファイル以外には拡張子 (.m4a) を付けないでください。
- 画像データを含む AAC ファイルを再生する場合、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。
- AAC ファイルをエンコードした iTunes のバージョンによっては、正しく再生されないことがあります。
- 再生可能な AAC ファイルのサンプリング周波数は 8kHz ~ 48kHz です。
- 対応ステレオビットレートは 8kbps ~ 320kbps です。
- この製品は、下記の形式には対応していません。
 - * Apple Lossless

DivX とは？



- DivX® は、DivX, Inc. が開発した評価の高いメディア技術です。DivX のメディアファイルは、高画質を維持しながら、高い圧縮率でコンパクトに圧縮できます。DivX で圧縮するファイルには、メニューや、字幕、サブオーディオトラックなども含めることができます。DivX.com では、DivX メディアファイルを多数掲載しています。これらのメディアをダウンロードして、DivX の専用ツールを使えば、オリジナルのコンテンツを作成できます。
- DivX Certified 製品は、DivX のクリエイタによってテストされ、全てのバージョンの DivX (DivX 6 も含む) でも再生できることが正式にテスト、認定された製品です。DivX Certified の認定ロゴが付いている製品は、DivX Profiles 規格に準拠したポータブルビデオや HD ビデオであることを示しています。
- 本機は、DivX® Certified 製品です。
- 標準の DivX® メディアファイル再生機能が付いた DivX® ビデオ (DivX® 6 も含む全てのバージョンに対応) を本機で再生することができます。
- DivX、DivX Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。本機では、CD-R/RW/ROM、DVD-R/RW に記録された DivX® ファイルを再生できます。
- DivX Ultra には対応していません。
- この取扱説明書では、それぞれの DivX® ファイルを DVD にあわせて「タイトル」と呼びます。DivX® ファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、ディスクに記録する際はタイトル名の付けかたにご注意ください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マイナー機能

その他の機能

AV初期設定

その他の機能

付録

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。チェックしても直らないときは、販売店にご相談ください。

共通項目

症状	原因	処置
音が出ない。	音量が0になっている。	音量を上げてください。
映像が出ない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
	ナビスタンバイ状態になっている。	ナビスタンバイを解除してください。→『スタートブック』
モニターにナビゲーションの画像が映らない。	モニターが、ナビゲーション画面に切り換わっていない。	(Navi)で画面を切り換えてください。
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節・設定してください。 →「フェーダー/バランス設定」(P104)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	
画質調節ができない。	パーキングブレーキをかけていない。	パーキングブレーキをかけてください。
液晶画面の中に、小さな黒点や輝点がある。	液晶特有の現象で、故障ではありません。	—
映像がギザギザに表示される。	ワイド画面特有の現象で、故障ではありません。	—

FM/AM

症状	原因	処置
ラジオ受信中に“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。→「ラジオの放送を受信する」(P16)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。→「ラジオの放送を受信する」(P16)

DVD

症状	原因	処置
再生できない。	PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本機と同じリージョン番号のディスクに交換してください。
映像が見えない。	走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
	ナビゲーションの画面になっている。	(AV) で画面を切り換えてください。
ディスクを入れても自動的に再生しない。	ディスクによっては、ディスクメニューが表示されて自動的に本編を再生しない場合があります。	ディスクメニューを操作して、再生を開始するか、オートプレイをONに設定してください。→「オートプレイ」(P59)
オートプレイが正しく動作しない。	オートプレイが正しく動作できないディスクが入っている。	ご使用されるディスクにより期待通りの動作ができない場合があります。このような場合はオートプレイをOFFにして再生してください。→「オートプレイ」(P59)
音が出ない。	静止画、スロー、コマ送り再生中である。	静止画、スロー、コマ送り再生中に、音声を聞くことはできません。
視聴制限のメッセージが表示され、再生できない。	視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除、またはレベルの変更をしてください。→「視聴制限」(P59)
音声言語、字幕言語が切り換えられない。	複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
	ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。
初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。
アングルを切り換えて見ることができない。	複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
	複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。
ディスク再生中に映像が乱れる。または暗い。	ディスクコピー禁止信号が入っている。(ディスクによって入っている場合があります。)	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの症状が出るものがあります(故障ではありません)。
Ⓢ(禁止マーク)が画面に出て操作できない。	ディスクが禁止している操作です。ディスクの構造上対応できない操作をしている。	この操作はできません。
画面が止まり、操作を受け付けない。	ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	■ にタッチしてから、もう一度再生してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

マイナー機能

その他の機能

AV初期設定

その他の機能

付録

CD、ROM (WMA/MP3/AAC)

症状	原因	処置
CD-R や CD-RW を再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。
WMA/MP3/AAC ファイルを再生できない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。 ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。 対応していないビットレートで記録されている。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。 ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。 対応しているビットレートで記録された WMA/MP3/AAC ファイルにしてください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生中に大きな雑音が出る。	ファイルの形式と拡張子があていない。	ディスクを交換してください(WMA 形式でないファイルに「.wma」、MP3 形式でないファイルに「.mp3」、AAC 形式でないファイルに「.m4a」の拡張子を付けた CD-ROM を再生しないでください)。
聞きたい WMA/MP3/AAC ファイルが見つからない。	WMA ファイルに「.wma」、MP3 ファイルに「.mp3」、AAC ファイルに「.m4a」の拡張子が付いていない。	WMA ファイルに拡張子「.wma」、MP3 ファイルに拡張子「.mp3」、AAC ファイルに拡張子「.m4a」の付いたディスクに交換してください。
フォルダー名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されていない。	ISO9660 のレベル 1、レベル 2、Romeo、Joliet に準拠して記録されたディスクに交換してください。
WMA/MP3/AAC ファイル再生が、記録した順と異なる。	WMA/MP3/AAC ファイルは、記録したときの順番どおりに再生されない場合があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダー名、ファイル名のはじめに数字 (01、02 など) を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

ミュージックサーバー

症状	原因	処置
CDが録音されていない。	CDの録音が中止された。	CDの録音には制限があります。 →「CD録音の制限について」(P70)
プレイリストのタイトルに「CD・日付時刻」が表示されている。	タイトルが複数候補あったかタイトル情報が本機内蔵のメモリー内に収録されていない。	タイトルの取得を行ってください。
プレイリストのタイトル情報が取得できない。	通信機器が接続されていない。 通信接続設定が正しくされていない。	通信機器の接続を確認してください。 通信接続設定を行ってください。 →「ナビゲーションブック」-「設定操作」-「通信接続設定」
	ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。
	本機ハードディスク内のデータベースで複数のタイトル候補があった。	手動でタイトル情報を取得してください。→「タイトル情報を取得する」(P88)

地上デジタルテレビ

症状	原因	処置
画面が止まっている。 画面がカクカクして映る、コマ落ちしている。 画面に正方形のノイズが映る。	受信状態が悪くなった場合などは、そのような症状になります。これらは地上デジタル放送特有の現象で、故障ではありません。	受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。
メッセージが表示され、視聴ができない。	本機が対応しない放送を視聴しようとしている。	本機は、以下の放送には対応していません。 ・番組単位で購入できる有料放送(ペイ・パー・ビュー) ・双方向通信を使うデータ放送 対応している放送に切り換えてください。
映像切換、音声切換、字幕切換のタッチキーが薄く表示されていて切り換わらない。	受信中の番組が、それらの情報を放送していない。	それらの情報を放送している番組で操作してください。
画質が悪くなった。	ワンセグに切り換わっている。	ワンセグを通常放送に手動で切り換えるときは、サービス切換にタッチします。(→P28)

つづく→

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ナビゲーション

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

<p>受信できない。 「受信できません」というメッセージが表示される。 「チャンネルスキャンをしてください」というメッセージが表示される。</p>	<p>チャンネルスキャンをしていない。</p>	<p>初めて使うときやバッテリーを外したとき、本機のリセットボタンを押したとき、「視聴者設定クリア」(P31)をしたときは、チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P28)</p>
	<p>移動により、受信中のチャンネル電波が弱くなった。</p>	<p>他の中継局(チャンネル)に切り換えてみてください。エリアプリセットで受信中は、受信可能な中継局や系列局を自動的に探して切り換えることができます。→「受信可能な中継局を探す」(P24)</p>
<p>放送局(チャンネル)が増えたり、他のエリアに移動して受信環境が変わった。</p>		<p>受信環境が変わったときは、チャンネルスキャンをしてください。 →「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P28)</p>
<p>受信レベルが低下して、放送が受信できない。</p>		<p>受信状態の安定した場所に移動して視聴してください。ワンセグ放送が受信可能な場合は、サービス切換で切り換えます。→「サービスを切り換える」(P28)</p>

エラーメッセージと対処方法

共通項目

メッセージ	原因	処置
高温のため動作できません。安全な場所に移動し、温度が下がるまで電源を落してください。	ナビゲーション本体の内部温度が高くなった。	内部温度が下がるまでお待ちください。ヒーター吹き出し口の近くなど、高温になるところに設置していないことを確認してください。

DVD、CD、ROM (WMA/MP3/AAC)、DivX

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
ERROR-2	ディスクの読み取り状態に異常がある。	ディスクの汚れを拭き取ってください。→『スタートブック』
再生できません。 ディスクを取り出してください。	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。→『スタートブック』
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
ディスクが入っていません。	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います。	本機のリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号“2”を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです。	本機で再生できないディスクを使用している。	本機で再生できるディスクに交換してください。→『再生できるディスクの種類』(P122)
高温、または低温のため、再生できません。 ディスクを取り出してください。	本機の内部温度が高い、または低い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまでお待ちください。改善されない場合は、販売店にご相談ください。

ミュージックサーバー

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
このCDは録音できません。	CD-R などコピー禁止のディスクや、パーシャルディスク、DTS-CD などから録音しようとしている。	一般のCD など、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためハードディスクにデータが書き込めません。	低温のため、データが書き込めない。	温度が上がるまで、しばらくお待ちください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

ハードディスク容量不足のため、録音できません。	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。→「アルバムグループからプレイリストを消去する」(P82)、「アルバムグループ内のプレイリストからトラックを消去する」(P83)
このトラックはすでに録音されています。	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じ CD から重複して録音できません。

iPod

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
ERROR-11	正常に通信できないとき。	コネクタを一度はずし、iPod のメインメニューが表示されてから、もう一度確実にコネクタを接続してください。それでも iPod が正常に動作しない場合は、iPod をリセットしてください。
ERROR-21	iPod ソフトウェアのバージョンが古いとき。	iPod ソフトウェアのバージョンをアップデートしてください。
ERROR-30	iPod に問題が発生したとき。	iPod をリセットしてください。
iPod ビデオの認証に失敗しました。iPod ビデオを使用することができません。	何らかの原因で製品と iPod の間の認証が失敗したとき。	iPod を本機から取り外し、iPod が問題なく動作していることを確認してから再度接続してください。

地上デジタルテレビ

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
受信できません。	地上デジタル放送の電波を受信できない。	「故障かな?と思ったら」の「地上デジタルテレビ」の「受信できない」(→P132)をご覧ください。
スキャンを実行してください。	選局用サービスリストにチャンネルが登録されていない。	チャンネルスキャンをしてください。→「放送局を自動で登録する(チャンネルスキャン)」(P28)
チャンネルが登録されていません。	プリセットチャンネルリストにチャンネルが登録されていない。	
サービスが登録されていません。電波状況の良い場所でスキャンをしてください。	サービスが登録されていない。	
このチャンネルは登録できません。	ユーザープリセットにメモリーできないチャンネルを登録しようとした。	登録できるチャンネルを探して登録します。
現在、このサービスは視聴できません。	放送(サービス)としては存在するが、放送されていない。	—
映像情報がありません。	音声のみの番組です。	—

有料放送につき事業者との契約が必要です。	契約が必要な放送を選局している。	有料放送を見るときは、有料放送事業者との契約が必要です。有料放送事業者と契約をしてください。
有料放送です。本機では対応していません。	本機が対応していない有料放送（双方向通信を使うデータ連動放送、番組単位で購入できる有料放送（ペイ・パー・ビュー））を受信している。	本機が対応している放送に切り換えてください。
ダウンロード待機中。	ダウンロード設定を「ON」にしたことによる、ダウンロードの待機を知らせるメッセージです。ダウンロードが予定された時刻の5分前から、メッセージが表示されます。	5分後に自動的にダウンロードを開始します。エンジンを切らずにそのままお待ちください。 →「ダウンロードの手順」(P32)
ダウンロードを正常に終了しました。ソフトウェアの更新を行うには再起動してください。	ダウンロードが成功したことをお知らせするメッセージです。	指示に従って、地上デジタルTVチューナー部を再起動します。 →「ダウンロードの手順」(P32)
ダウンロードに失敗しました。	ダウンロードに失敗したことをお知らせするメッセージです。	受信状態が安定しているのにダウンロードが何度も失敗してしまうときは、販売店またはパイオニアカスタマーサポートセンターにご相談ください。
地上デジタルTVで高温を検出しました。保護のため停止中です。 HEAT (ERROR-12) HEAT (ERROR-13)	本機の内部温度が高くなった。	本機が、正常に動作する温度になるまでお待ちください。改善されないときは、設置場所に問題がないか確認してください。 →「取付説明書」
アンテナ接続エラーの可能性が あります。 ANTENNA (ERROR-20)	地上デジタルTV用のアンテナに不具合がある。	地上デジタルTV用のアンテナに不具合がないか確認してください。 →「取付説明書」
地上デジタルTVチューナーに不具合が発生した可能性が あります。 ERROR-11	地上デジタルTVチューナー部に不具合がある。	本機のリセットボタンを押してください。 →「スタートブック」
ICカードを正しく装着してください。	B-CASカードが装着されていない。 B-CASカードが違う向きで装着されている。 B-CASカード挿入口やB-CASカードにゴミなどが付いている。	B-CASカードが正しく装着されているか確認してください。 →「スタートブック」
このICカードは使用できません。	B-CAS以外のカードを装着している。	B-CASカードを装着してください。 →「スタートブック」
ICカードの交換が必要です。	B-CASカードが破損している。	B-CASカードのカスタマーセンターに連絡して、B-CASカードを交換してください。

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュー
ジーック

その他の
機器

AV初期
設定

その
他の
機能

付
録

概要

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。

特許及び商標

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote® により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。詳細については、次の Web サイトをご覧ください：www.gracenote.com Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright(c)2000-2007 Gracenote. Gracenote Software: Copyright 2000-2007 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数の実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。[Gracenote] および「CDDB」は、Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは、Gracenote の商標です。Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください：www.gracenote.com/corporate

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。

お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除さ

れることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含む、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

©Gracenote 2006

Gracenote データについて

- 本機内蔵の Gracenote データ、専用サーバーの Gracenote データとともに、データの内容を 100% 保証するものではありません。
- 専用サーバーの Gracenote データは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。
- 専用サーバーによる Gracenote データの通信サービスは、提供するコンテンツが収集できない場合やその他サービスの提供に支障をきたす事由が生じた場合、お客様の承諾なくその提供を中止することがあります。

索引

メニュー索引

AV 初期設定メニュー

AV ソース画面

初期設定 → P104

オーディオ設定メニュー

オーディオ設定 (タブ)

- フェーダー/バランス設定 → P104
- LOUDNESS設定 → P105
- イコライザー設定 → P105
- ハイパスフィルター設定 → P107
- サブウーファー設定 → P107
- ソースレベルアジャスター設定 → P108
- 音場設定 (VSC) → P109
- バスブースター設定 → P110

システム設定メニュー

システム設定 (タブ)

- ワイドモード設定 → P110
- 消音タイミング → P110
- 消音レベル → P111
- 映像入力設定 → P111
- カメラ設定 → P111
- バックカメラ極性 → P111
- AUX 設定 → P111
- 映像画面時計表示設定 → P111
- 5.1ch DSP ユニット設定 → P112
- ガイド/ハンズフリー SP 設定 → P112
- 録音設定 → P112
- DVD ビデオ機能設定 → P112
- DivX VOD コード → P113
- デジタル TV 機能設定 → P113
- iPod ワイドスクリーン → P113

DVD ビデオ機能設定メニュー

- 基本字幕言語 → P57
- 基本音声言語 → P58
- メニュー言語 → P58
- マルチアングル → P58
- テレビアスペクト → P58
- 視聴制限 → P59
- オートプレイ → P59
- 光デジタル出力 → P60

デジタル TV 機能設定メニュー

- 視聴設定 (タブ)
 - 12 セグ・ワンセグ切替設定 → P30
 - オート放送局サーチ設定 → P30
 - 文字スーパー表示設定 → P30
 - イベントリレー設定 → P31
 - 緊急警報放送設定 → P31
- 環境設定 (タブ)
 - 地域設定 → P31
 - 郵便番号設定 → P31
 - ダウンロード設定 → P31
 - 番組名称情報取得設定 → P31
 - 視聴者設定クリア → P31
 - 番組表表示設定 → P31
 - 4 チューナー設定 → P31
- 受信機情報 (タブ)
 - お知らせメッセージ → P32
 - バージョン情報 → P32

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュー
ジック

その他の機器

AV 初期設定

その他の機能

付
録

用語索引

五十音順

あ行

明るさ	116
アーティストグループ	74
アングル	48
暗証番号	59
イコライザー	105
イコライザーを補正する	106
一時停止	37,42,50,63,92,97
イベントリレー設定	31
色あい	116
色温度	116
色の濃さ	116
映像画面時計表示設定	111
映像入力設定	111
エクスターナルユニット	100
エラーメッセージ	133
エリアプリセット	17,22
お好みプレイリスト	78
お知らせメッセージ	32
オーディオ設定	104
オート	71,72
オートプレイ	59
オート放送局サーチ設定	30
音場	109
音声圧縮方式	126
音声言語	47,55,67

か行

ガイド/ハンズフリー SP設定	112
外部機器	101
画質	116
画像	84
画像表示画面	75
カテゴリ	92
カメラ設定	111
基本音声言語	58
基本字幕言語	57
緊急警報放送設定	31
禁止マーク	123
黒の濃さ	116
検索サーバー	89
交通情報	19
コピーコントロールCD	70
コマ送り	45,51,63

コントラスト(明暗)	116
------------	-----

さ行

再生	92,97
再生情報画面	13,75
サイドメニュー	11
サービス	28
サブウーファー設定	107
サラウンド放送	20
サンプリング周波数	126
システム設定	110
視聴者設定クリア	31
視聴制限	59
視聴設定	30
シネマ	117
字幕言語	47,54,66
ジャスト	117
シャッフル再生	94
ジャンル	74,84
十字パネルタッチキー	27
周波数	16
主音声	29
受信機情報	32
手動録音	36
消音タイミング	110
消音レベル	111
詳細・編集画面	79
情報更新タッチキー	11
シングル	71,73
数字パネルタッチキー	27
スキャン	28
スキャン再生	40,77
ステレオ放送	16,20
ズーム	117
スロー再生	45,52,64
操作タッチキー	20,42,50,62
ソースレベルアジャスター設定	108

た行

タイトル	43,51,71
タイトル情報	88
ダイレクトサーチ	46,54,66
ダイレクトタッチ	44
ダウンロード設定	31
タッチパネルキャリブレーション	119
タブ送り	11

地域設定	31
チェックマーク	11
チェックリスト	11
地上デジタルテレビ	20
チャプター	43,51
チャンネルスキャン	28
中継局	24
停止	37
ディスク	42,50,62
ディスクメニュー	44
データ放送	26
データ連動放送	20
テレビアспект	58
登録コード	113
トラック	37,74,75,92,97

な行

ナビゲーション画面	13
ナビスタジオ(楽ナビ用)Ver.2.1	70,79,84,87
ノーマル	108,117

は行

ハイパスフィルター設定	107
バージョン情報	32
バスブースター	110
パソコンリンクソフト	70,79,84,87
バックカメラ極性	111
早送り	37,42,43,45,50,51, 52,62,64,74,75,92,97
早戻し	37,42,43,45,50,51, 52,62,64,74,75,92,97
パレンタルロック → 視聴制限	59
番組表	24
番組表表示設定	31
番組名称情報取得設定	31
パンスキャン	58
バンド	17,23
光デジタル出力	60
ビットレート	126
ビデオオンデマンド	113
ファイナライズ	122
ファイル	63
ファクトリーカーブ	105
ファンクションキー	100
フェーダー/バランス	104
フォルダー	36,37,39,40,63, 65,66,67,125
副音声	29

ブックマーク	46
物理チャンネル	21
プリセット	17,22
エリアプリセット	17,22
ユーザープリセット	17,22
プリセットチャンネル	16,21
フル	117
プレイリスト	53,74,75,78,79
プレイリスト画像リンク	84
プレビュー	84
プログラム再生	53
ページ送り	10
放送局	16
ポジション	109
ポータブルプレーヤー	101
ポッドキャスト	93

ま行

マイミックス	78
マニュアル	71
マニュアルプリセット	17,23
マルチDVDプレーヤー	100
マルチアングル	48,58
マルチ音声	43,47,51,55,58,63,67
マルチ言語字幕	57
マルチ字幕	43,47,51,54,63,66
マルチセッション	125
マルチビュー放送	20
ミュージックサーバー	70
メディアの切換	37,62
メニュー言語	58
メニューカスタマイズ	12
文字スーパー表示設定	30

や行

郵便番号設定	31
ユーザープリセット	17,22

ろ行

ラウドネス	105
ラジオ	16
ランダム再生	39,77,98
リージョン番号	123
リスト画面	13
リスニングポジション	109
リターン再生	48
リニアPCM	49,60
リバーズ	108
リピート再生	39,49,55,67,76,94,98

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバー

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

レジストレーションコード	113
レターボックス	58
連続複製防止システム	70
レンタルコンテンツ	65
録音	70
録音設定	71,112
録音プログレスバー	72
録音モード	71
ロータリーコマンド&セレクター	10

わ行

ワイド画面	117
ワイドモード設定	110

数字・アルファベット順

数字

1～6キー	100
2カ国語放送	29
3桁チャンネル	21
4チューナー設定	31
4点調整	119
4倍速	72
5.1ch DSPユニット設定	112
10キーモード	46
12セグ・ワンセグ切替設定	30
16:9	58
16点調整	119

A

A2DP	96
AAC	36,127
ACTOR'S STAGE	109
Advanced Audio Coding	127
ALL RANDOM	98
ALL REPEAT	98
Apple Lossless	127
AUX	101
AUX設定	111
AVCHD	123
AVCREC	123
AVRCP	96
AV初期設定	104
AVソース	12
AVソース画面	13
AVソースプレート	14
AVソースメニュー	12
AVプロファイル	96

B

BSM	18
BT AUDIO	96

C

CD	36,122
CD-DA	125
CD-EXTRA	122,125
CD-R	125
CD-RW	125
CDDB	37,71,88
CD TEXT	37,71
CHAPTER	46
CHAPTER REPEAT	49,55

CINEMA	117		
CMスキップ	45,52,64		
CMバック	45,52,64		
Copy Control CD	122		
CUSTOM	105		
D			
d	26		
DDCD	122		
DISC REPEAT	39,55,67		
DivX	62,127		
DivX Certified	127		
DivX Ultra	127		
Dolby D	47,67		
DRM コピープロテクション	113		
DTS 音声	47		
DualDisc	123		
DVD-R	125		
DVD-RW	125		
DVD-VR	50		
DVDビデオ	42		
DVDビデオ機能設定	112		
DYNAMIC THEATER	109		
E			
EXT1	100		
EXT2	100		
F			
FILE	66		
FILE REPEAT	67		
FLAT	106		
FOLDER	66		
FOLDER REPEAT	39,67		
FULL	117		
G			
Gracenote®	37,71,88,136		
GROUP RANDOM	98		
GROUP REPEAT	76,98		
H			
HDTV (ハイビジョン放送)	20		
I			
ID3 Tag	126		
iPod	92		
iPodワイドスクリーン	113		
ISO9660	125		
iTunes	127		
J			
Joliet	125		
JUST	117		
M			
m3u	125		
MIXED-MODE CD	125		
MP3	36,126		
MP3i (MP3 interactive)	125		
MP3 PRO	125		
MPEG2	127		
MPEG4	127		
MPEG Audio Layer 3	126		
MSV	74		
MUSIC STUDIO	109		
N			
NATURAL	106		
NORMAL	117		
No Title	88		
No Titleリスト	89		
NTSC	122		
P			
PC (パソコン)	122		
PCM デジタル音声データ	70		
PlayList	53		
PLAYLIST REPEAT	76		
POWERFUL	106		
Program	53		
P side Map	14		
R			
RANDOM OFF	98		
RELAX LIVING	109		
REPEAT OFF	98		
ROM	36		
Romeo	125		
S			
SCMS → 連続複製防止システム	70		
SDTV (標準画質放送)	20		
SEEK	21		
STREAM	60		
SUPER BASS	106		

はじめに

基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックサーバーバック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

T

TIME	46
TITLE REPEAT	49,55
TRACK REPEAT	39,76,98

U

USBメモリー	70,79,84,87
---------	-------------

V

VBR	126
VOCAL	106
VSC	109
VTR	102

W

Windows Media Audio 9 Lossless	126
Windows Media Audio 9 Professional	126
Windows Media Audio 9 Voice	126
Windows Media Player	126
Windows MediaTM Audio	126
WMA	36,126

Z

ZOOM	117
------	-----

<各窓口へのお問い合わせ時のご注意>

「0120」で始まる **フリーコール** および **フリーダイヤル** は、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口 ● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品

電話： **フリー 0120-944-111** 【一般電話】 **03-5496-8016** FAX： **03-3490-5718**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/>

※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

カーナビゲーション「訪問宅電話番号検索機能」に関するご相談窓口

「訪問宅電話番号検索機能」に関する個人情報の削除等の受付窓口

受付時間 月曜～金曜 9：30～12：00、13：00～17：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **フリー 0120-817-088**

カーナビゲーションの通信サービスやネットワーク接続（携帯電話、Bluetooth接続は除く）に関するご相談窓口

パイオニアモバイルネットワークス株式会社

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **フリー 0120-702-383** 【一般電話】 **03-3495-9963**

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

修理についてのご相談窓口 ● お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜・日曜・祝日 9：30～12：00、13：00～17：00（弊社休業日は除く）

電話： **フリー 0120-5-81028** 【一般電話】 **03-5496-2023** FAX： **フリー 0120-5-81029**

インターネットホームページ <http://pioneer.jp/support/repair.html>

※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】 **098-879-1910** FAX： **098-879-1352**

部品のご購入についてのご相談窓口 ● 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間 月曜～金曜 9：30～18：00、土曜 9：30～12：00、13：00～18：00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話： **フリー 0120-5-81095** 【一般電話】 **0538-43-1161** FAX： **フリー 0120-5-81096**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

© パイオニア株式会社 2009

< KAMFX > < 09H00000 > < CRA4289-A/S >